

平成28年度 市民意識調査報告書



郡山市政策開発部広聴広報課

目 次

I	調査の実施概要	
1	調査目的	・・・・・・・・・・ 1
2	調査方法	・・・・・・・・・・ 1
	(1)調査対象者	
	(2)標本数	
	(3)抽出方法	
	(4)回答方法	
	(5)調査期間	
3	調査項目	・・・・・・・・・・ 2
	(1)まちの住み心地について【住みやすさ】	
	(2)まちづくりについて【満足度】	
	(3)これからの取り組みについて【重要度】	
4	回答状況	・・・・・・・・・・ 2
	(1)発送数	
	(2)有効回収数	
	(3)回収率	
II	調査結果	
1	まとめ	・・・・・・・・・・ 3～8
2	回答者の基本属性	・・・・・・・・・・ 9～11
	(1)男女別	
	(2)年代別	
	(3)地域別	
	(4)職業別	
	(5)居住年数別	
	(6)居住形態別	
3	まちの住み心地について【住みやすさ】	
	(1)住みやすいまちですか	・・・・・・・・・・ 13～14
	①全体 ②年代別 ③地域別	
	(2)今後も住みたいまちですか	・・・・・・・・・・ 15～16
	①全体 ②年代別 ③地域別	
4	まちづくりについて【満足度】	
	(1)分野別の満足度ランキング	・・・・・・・・・・ 17～18
	(2)項目別の満足度ランキング	・・・・・・・・・・ 19
	(3)項目別の満足度回答状況	・・・・・・・・・・ 20
	(4)分野別・項目別の満足度ランキング	・・・・・・・・・・ 21～22
5	これからの取り組みについて【重要度】	
	(1)分野別の重要度ランキング	・・・・・・・・・・ 25～26
	(2)項目別の重要度ランキング	・・・・・・・・・・ 27～28
	(3)分野別・項目別の重要度ランキング	・・・・・・・・・・ 29～30

6 郡山市の新たなまちづくり基本指針について	
(1) 「第五次総合計画」を知っていますか	・・・・・・・・ 32
①全体 ②年代別	
(2) 運営方針策定にどのような手法で参加したいですか	・・・・・・・・ 33
①全体 ②年代別	
(3) 基本指針をどのような機会に活用したいですか	・・・・・・・・ 34
①全体 ②年代別	
Ⅲ 自由意見	・・・・・・・・ 35～45
(資料)	
1 まちづくりについて【満足度】	
(1) 満足度男女別・年代別回答状況	・・・・・・・・ 46
(2) 満足度地域別回答状況	・・・・・・・・ 47～48
2 これからのまちづくりについて【重要度】	
(1) 重要度男女別・年代別回答状況	・・・・・・・・ 50
(2) 重要度地域別回答状況	・・・・・・・・ 51～52
3 調査票	・・・・・・・・ 54～61

I 調査の実施概要

1 調査目的

時代とともに変化する市民意識の動向と現在の多様なニーズを把握し、今後の本市施策、事業の検討、推進、評価等の基礎データとして活用するため、本市のまちづくり（取り組み）に対する「満足度」や「重要度」について、調査しました。

2 調査方法

(1) 調査対象者

郡山市内に在住する満18歳以上の男女（平成27年度調査は満20歳以上）

(2) 標本数

2,500人（男性1,250人、女性1,250人）

〈内訳〉

	標本数	性別		年齢別							
		男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
全体	2,500	1,250	1,250	75	348	421	459	424	480	293	
地区別	旧市内	956	478	478	26	135	154	185	174	172	110
	富田	198	99	99	5	31	38	40	31	34	19
	大槻	244	122	122	6	30	41	45	41	51	30
	安積	254	127	127	7	36	45	46	40	48	32
	三穂田	38	19	19	2	4	5	6	6	9	6
	逢瀬	36	18	18	2	4	5	5	6	9	5
	片平	48	24	24	2	6	9	7	8	10	6
	喜久田	92	46	46	2	12	19	18	14	17	10
	日和田	74	37	37	2	11	14	15	10	14	8
	富久山	266	133	133	8	45	51	49	43	46	24
	湖南	30	15	15	2	2	3	2	6	9	6
	熱海	44	22	22	2	5	5	6	8	11	7
	田村	142	71	71	5	19	22	23	23	32	18
	西田	36	18	18	2	4	5	6	6	8	5
中田	42	21	21	2	4	5	6	8	10	7	

(3) 抽出方法

住民基本台帳（平成28年10月14日現在）により年代、地域を考慮した無作為抽出

(4) 回答方法

郵送による返送、インターネットでの返信によるアンケート方式

(5) 調査期間

平成28年11月2日～平成28年12月7日（36日間）

3 調査項目

(1) まちの住み心地について【住みやすさ】

- ①郡山市は住みやすいまちですか
- ②今後も郡山市に住みたいと思いますか

(2) まちづくりについて【満足度】

第五次総合計画に掲げる施策を調査項目の基本とした7分野43項目について、現在の取り組み状況における「満足度」を調査しました。

(3) これからの取り組みについて【重要度】

まちづくりと同様7分野43項目について、今後重点的に取り組んでほしい施策の「重要度」を調査しました。

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (7項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者福祉
		(20)障がい者福祉 (21)健康づくり (22)医療 (23)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(24)新エネルギー (25)環境活動 (26)ごみ対策
		(27)自然環境 (28)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(29)農業 (30)地域商工業 (31)ショッピング・レジャー
		(32)産業創出 (33)観光 (34)6次産業化 (35)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(36)計画的なまちづくり (37)交通・道路 (38)防災
		(39)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(40)除染 (41)健康管理 (42)子ども活動支援
		(43)風評の払しょく

4 回答状況

- (1) 発送数 2,500 件
- (2) 有効回収数 1,133 件
- (3) 回収率 45.3 % (対前年比 ▲6.3%)

※調査項目の各データの百分率については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

II 調査結果

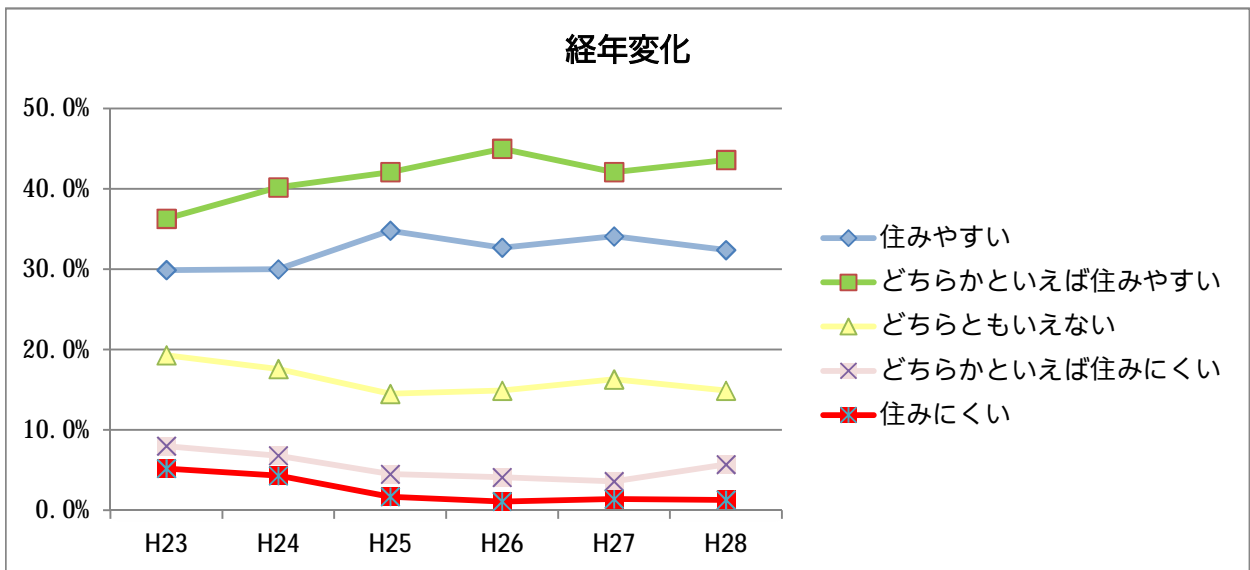
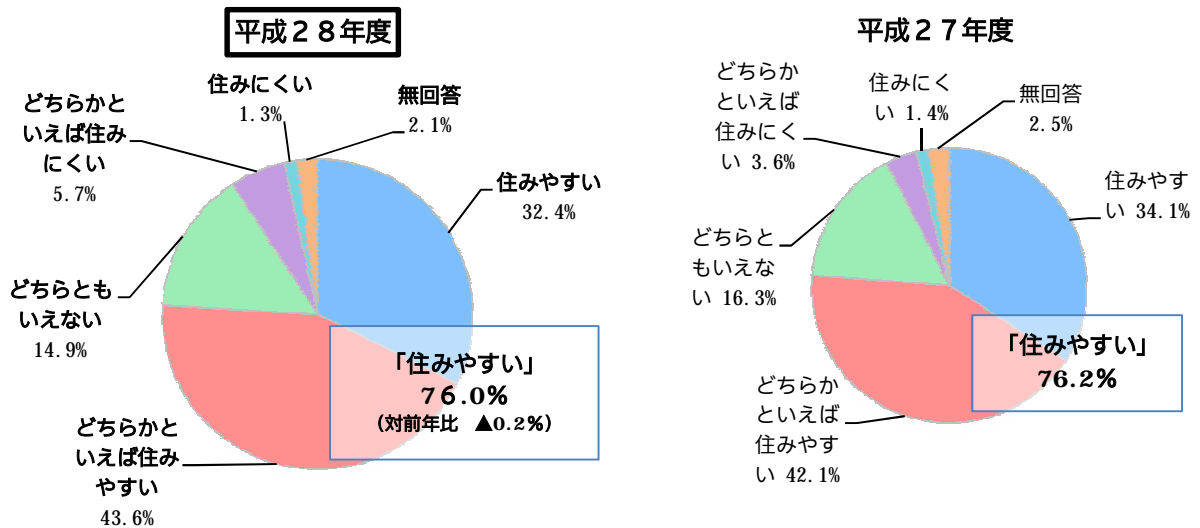
1 まとめ

(1) まちの住み心地について

本市は、「住みやすく」、これからも「住み続けたい」まちです。

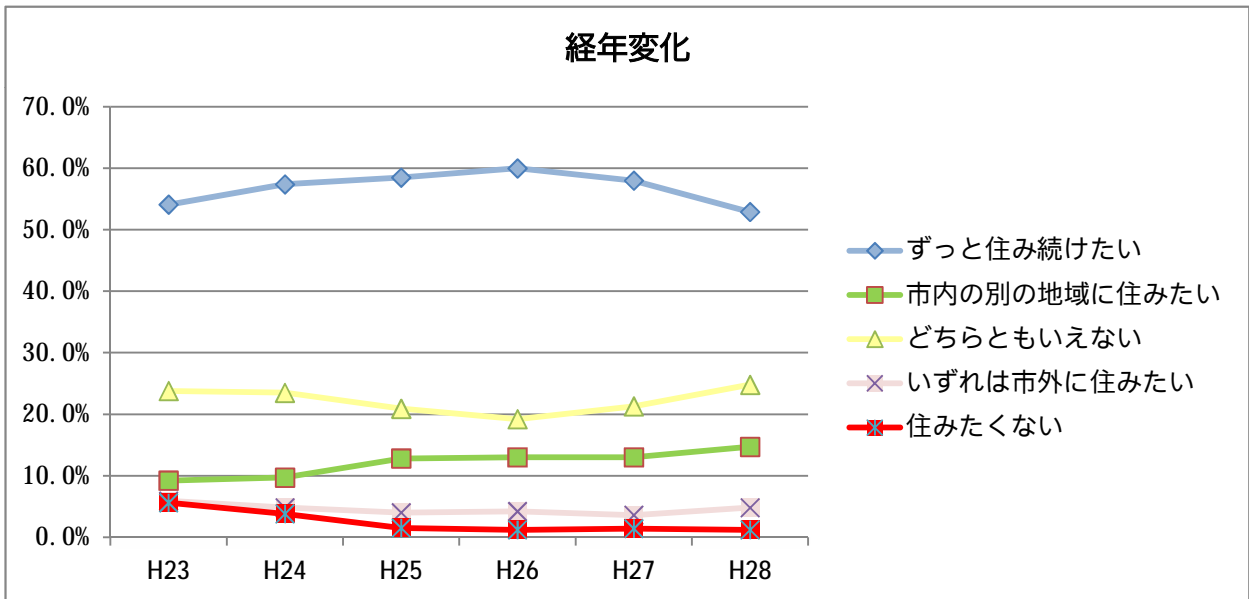
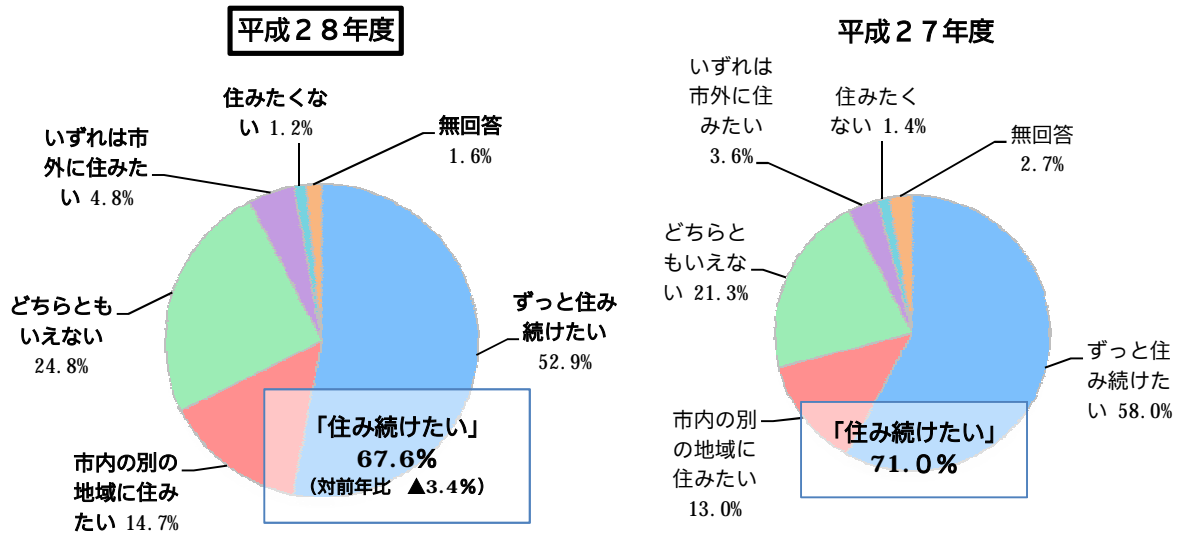
《住みやすいまちですか》

郡山市が住みやすいかをたずねたところ、「住みやすい」は32.4%で、「どちらかといえば住みやすい」の43.6%と合わせると76.0%と、約8割の方が郡山市は「住みやすい」まちと思っています。



《今後も住みたいですか》

郡山市に今後も住みたいかをたずねたところ、「ずっと住みたい」は52.9%で、「市内の別の地域に住みたい」の14.7%を合わせると67.6%と、約7割の方が郡山市に「住みたい」と思っています。



【まちの住み心地に寄せられた主な意見】

- ・生まれも育ちも郡山です。社会人の7年間程県外に行きましたが、今は郡山で暮らしています。やはり郡山は住みやすいです。(40代・女性)
- ・全般的に住みやすいと思います。(40代・女性)
- ・私の住む所は自然災害がほとんど無く、郡山は大変良い所だと思って住んでいます。(60代・女性)
- ・この街に住んで良かったと思っています。(70歳以上・男性)
- ・同じ市内でも、地域によってかなり差があります。(30代・女性)
- ・他市に比べて渋滞が多いと思う。(70歳以上・女性)
- ・他県や他の市と比べても、郡山は家賃が高いので住みにくい。(30代・女性)

(2) まちづくりについて【満足度】

現在のまちづくりに対する満足度については、市民生活の基礎となる「教育」「文化」「保健」「原子力災害対策」の分野が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくりについて、43項目（2ページ）をあげて満足度をたずねたところ、「広聴広報」「音楽都市こおりやま」「医療」「健康づくり」「生活衛生」「生涯学習」など、市民生活の基礎となる項目が上位を占めています。また、「住環境」（5位←18位）や「健康管理」（7位←14位）が昨年度から大きく順位を上げ、「除染」（4位←8位）も順位を上げています。

【平成28年度】

順位	前年度順位	項目	
1位	(4位)	広聴広報	→
2位	(1位)	音楽都市こおりやま	→
3位	(3位)	医療	→
4位	(8位)	除染	→
5位	(8位)	健康づくり	→
5位	(18位)	住環境	↑
7位	(14位)	健康管理	↑
8位	(7位)	生活衛生	→
9位	(2位)	生涯学習	↓
10位	(6位)	歴史・文化芸術	→

【平成27年度】

順位	項目
1位	音楽都市こおりやま
2位	生涯学習
3位	医療
4位	広聴広報
5位	ごみ対策
5位	歴史・文化芸術
7位	生活衛生
8位	健康づくり
8位	除染
10位	自然環境



(3) これからの取り組みについて【重要度】

これから重点的に取り組んでほしい分野は、市民生活に密着している「福祉」「教育」「子育て」「雇用」「都市計画」が上位となっています。

郡山市が進めているまちづくり43項目（2ページ）について、重要度をたずねたところ、「高齢者福祉」「学校教育」「子育て」「医療」など、市民生活に密着した項目が上位を占めています。

また、「産業創出」（6位←10位）が昨年度から順位を上げています。

【平成28年度】

順位	前年度順位	項目	
1位	—	高齢者福祉	—
2位	(2位)	学校教育	→
3位	(2位)	子育て	→
4位	(4位)	医療	→
5位	(5位)	雇用促進	→
6位	(10位)	産業創出	→
7位	(5位)	計画的なまちづくり	→
8位	(7位)	交通・道路	→
9位	(8位)	防犯・交通安全・消費者対策	→
10位	(11位)	健康管理	→

【平成27年度】

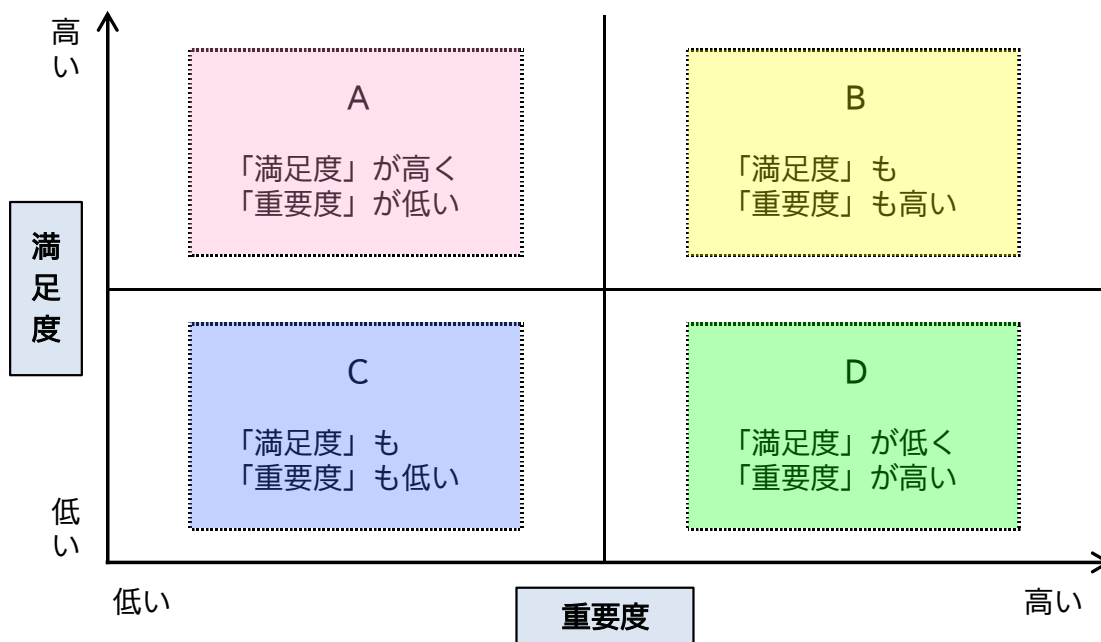
順位	項目
1位	高齢者・障がい者福祉
2位	学校教育
2位	子育て
4位	医療
5位	雇用促進
5位	計画的なまちづくり
7位	交通・道路
8位	防犯・交通安全・消費者対策
9位	青少年の健全育成
10位	産業創出

※「高齢者福祉」については、H28の新規項目（H27までの「高齢者・障がい者福祉」を「高齢者福祉」と「障がい者福祉」に分割）



＜満足度と重要度の散布図＞

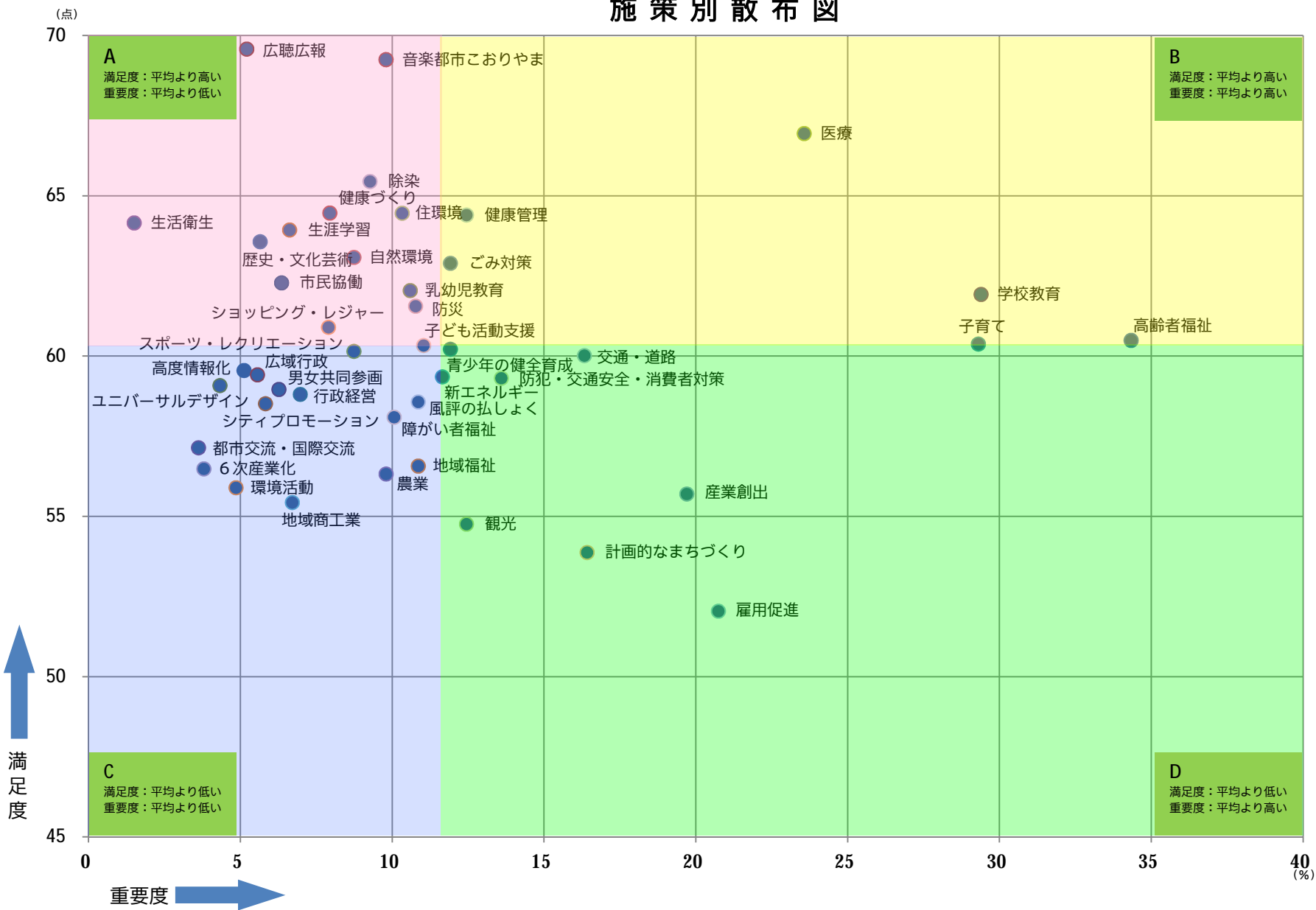
本市のまちづくり（取り組み）における項目間の相対的な位置付けを整理するため、「満足度」を縦軸、「重要度」を横軸にとり、各項目の「満足度」「重要度」の数値を散布図に示しました。「満足度」「重要度」の関係を表す領域線は、それぞれの平均値となります。



- A : 維持領域
重要度は低いが満足度が高い取り組みは、現状を維持していく項目
- B : 重要維持領域
重要度が高い取り組みに満足しているということは、引き続き重点的に維持していく項目
- C : 要検討領域
重要度も満足度も低い取り組みは、市民ニーズを再認識し、必要があれば大きく改善する必要がある項目
- D : 重要改善領域
重要度が高い取り組みに満足していないということは、現在のやり方を変えていく必要がある項目

上記のそれぞれの領域に該当した項目の満足度や重要度の高低については、あくまで全体の平均と比較して、相対的に満足度や重要度が高い低いということとなります。

施策別散布図

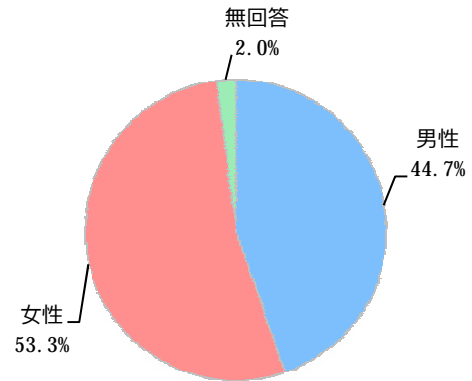


2 回答者の基本属性

(1) 男女別

男女別の回答率は、男性44.7%、女性53.3%と女性の方が男性を8.6%上回っています。

	発送数			回答数		
	男性	女性	合計	男性	女性	無回答
計	1,250	1,250	2,500	507	603	23

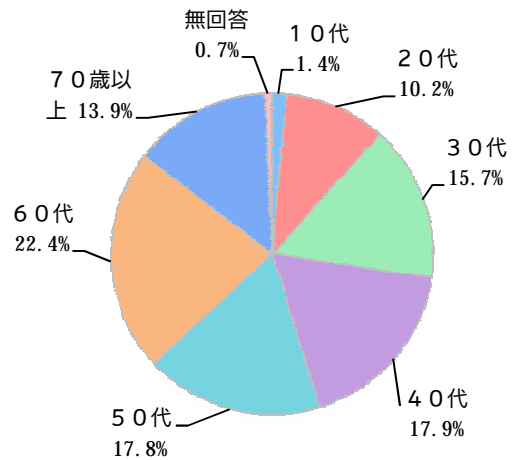


(2) 年代別

年代別の回答率は、「70歳以上」が53.6%と最も多く、次いで「60代」の52.7%となっています。

一方、回答率が最も低いのは、「10代」の21.3%、次いで「20代」の33.3%となっています。

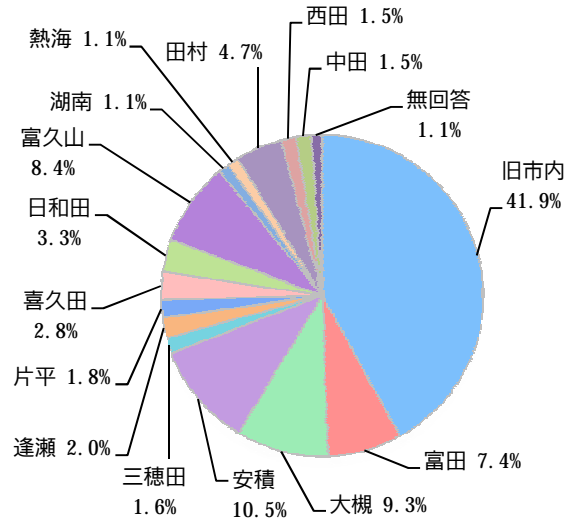
年齢層	発送数	回答数	回答率	構成比
10代	75	16	21.3%	1.4%
20代	348	116	33.3%	10.2%
30代	421	178	42.3%	15.7%
40代	459	203	44.2%	17.9%
50代	424	202	47.6%	17.8%
60代	480	253	52.7%	22.4%
70歳以上	293	157	53.6%	13.9%
無回答	-	8	-	0.7%
計	2,500	1,133	45.3%	100.0%



(3) 地域別

地域別の回答率は、「逢瀬」が63.9%と最も高く、次いで「日和田」の50.0%、「旧市内」の49.8%となっています。
一方、回答率が最も低いのは、「熱海」の29.5%、次いで「喜久田」の34.8%、「富久山」の35.7%となっています。

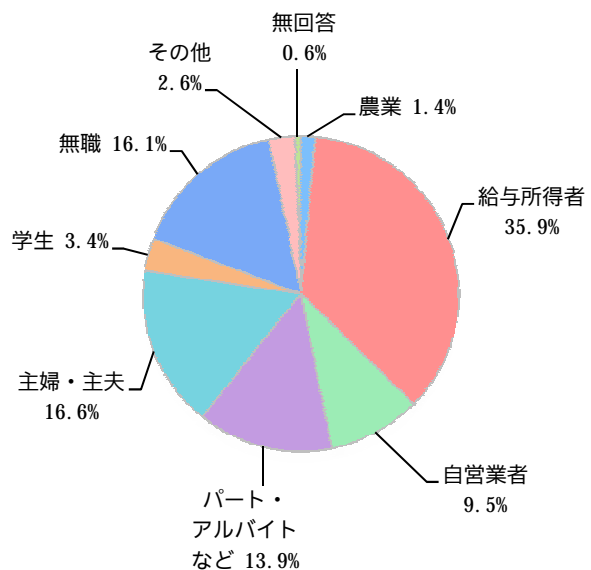
	発送数	回答数	回答率	構成比
旧市内	956	476	49.8%	41.9%
富田	198	84	42.4%	7.4%
大槻	244	105	43.0%	9.3%
安積	254	119	46.9%	10.5%
三穂田	38	18	47.4%	1.6%
逢瀬	36	23	63.9%	2.0%
片平	48	20	41.7%	1.8%
喜久田	92	32	34.8%	2.8%
日和田	74	37	50.0%	3.3%
富久山	266	95	35.7%	8.4%
湖南	30	12	40.0%	1.1%
熱海	44	13	29.5%	1.1%
田村	142	53	37.3%	4.7%
西田	36	17	47.2%	1.5%
中田	42	17	40.5%	1.5%
無回答	-	12	-	1.1%
計	2,500	1,133	45.3%	100.0%



(4) 職業別

有効回答数に占める職業別の割合は、「給与所得者」の35.9%が最も多く、次いで「主婦・主夫」の16.6%、「無職」の16.1%となっています。

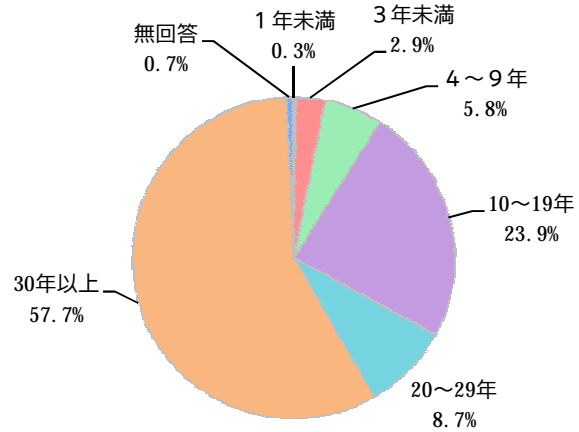
職業別	回答数	構成比
農業	16	1.4%
給与所得者	407	35.9%
自営業者	108	9.5%
パート・アルバイトなど	157	13.9%
主婦・主夫	188	16.6%
学生	38	3.4%
無職	182	16.1%
その他	30	2.6%
無回答	7	0.6%
計	1,133	100.0%



(5) 居住年数別

有効回答数に占める居住年数別の割合は、「30年以上」の57.7%が最も多く、次いで「10～19年」の23.9%、「20～29年」の8.7%となっています。

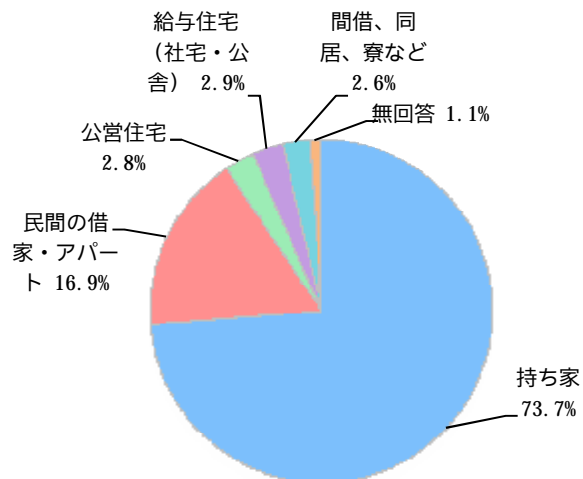
居住年数	回答数	構成比
1年未満	3	0.3%
3年未満	33	2.9%
4～9年	66	5.8%
10～19年	271	23.9%
20～29年	99	8.7%
30年以上	653	57.7%
無回答	8	0.7%
計	1,133	100.0%



(6) 居住形態別

有効回答数に占める居住形態別の割合は、「持ち家」の73.7%が最も多く、次いで「民間の借家・アパート」の16.9%となっています。

居住形態	回答数	構成比
持ち家	836	73.7%
民間の借家・アパート	191	16.9%
公営住宅	32	2.8%
給与住宅(社宅・公舎)	33	2.9%
間借、同居、寮など	29	2.6%
無回答	12	1.1%
計	1,133	100.0%





『市民提案制度「みなさんの声」』

郡山市では、まちづくりの主役である市民の皆さんの立場と視点に立ったまちづくりを進めています。

「みなさんの声」は、市民の皆さん一人ひとりの声を反映するための制度です。

お寄せいただいた貴重なご提案等は、より良い市政運営のために活用させていただきます。

☆☆専用用紙による投稿☆☆

市役所本庁舎1階、西庁舎1階、各行政センター及び市民サービスセンターに備えつけてあります。

☆☆郡山市ウェブサイトからの投稿☆☆

ウェブサイトをご利用ください。（「市民提案制度」のページから。）

☆☆ファックスによる投稿☆☆

ファックスをご利用ください。（フリーダイヤル：0120-435106）

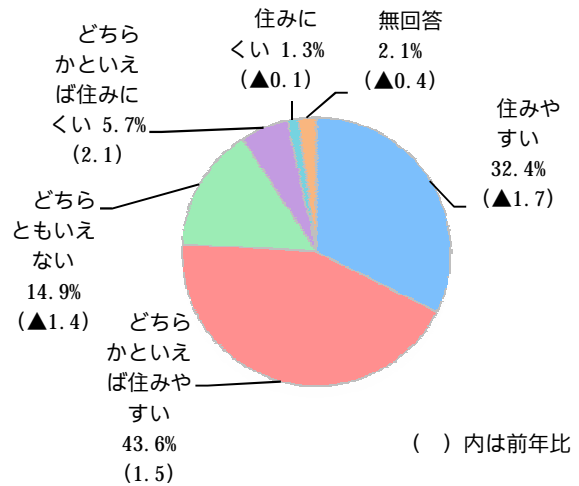
3 まちの住み心地について

(1) 郡山市は住みやすいまちか聞きました。(1つ選択)

①全体

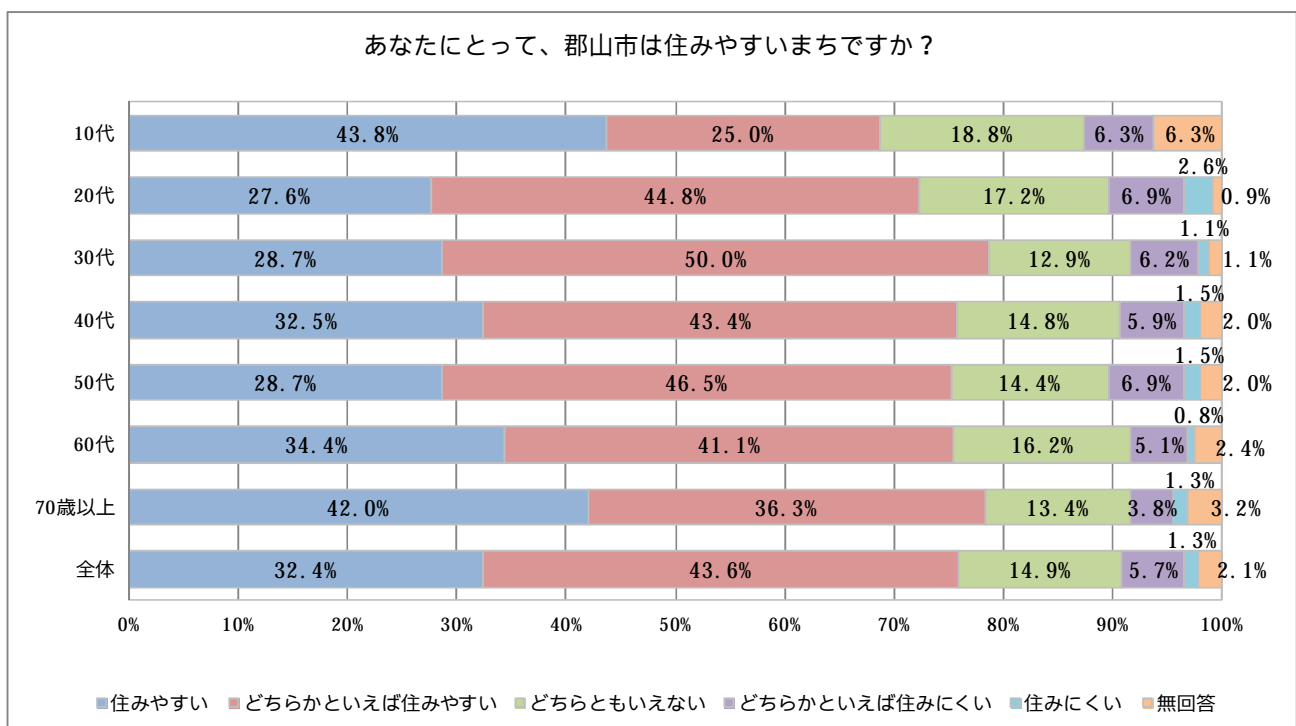
「どちらかといえば住みやすい」が43.6%と最も多く、次いで「住みやすい」が32.4%となっています。
また、「どちらかといえば住みにくい」は5.7%、「住みにくい」は1.3%となっています。

項目	回答数	回答率
住みやすい	367	32.4%
どちらかといえば住みやすい	493	43.6%
どちらともいえない	169	14.9%
どちらかといえば住みにくい	65	5.7%
住みにくい	15	1.3%
無回答	24	2.1%
計	1,133	100.0%



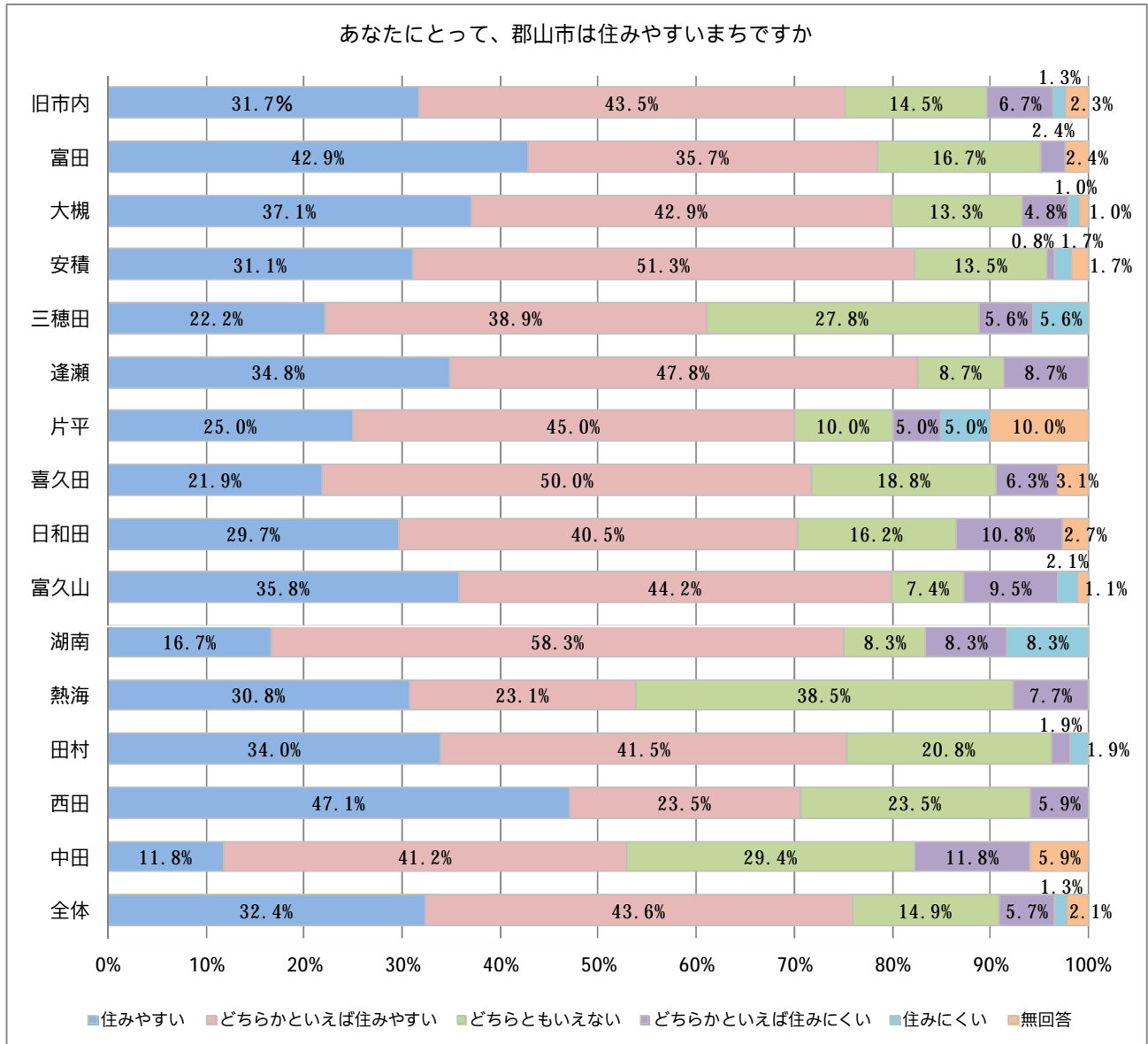
②年代別

「住みやすい」と答えた割合が最も多かったのは、「10代」の43.8%、次いで「70歳以上」の42.0%、「60代」の34.4%となっています。



③地域別

「住みやすい」と答えた割合が最も多かったのは、「西田」の47.1%、次いで「富田」の42.9%、「大槻」の37.1%となっています。

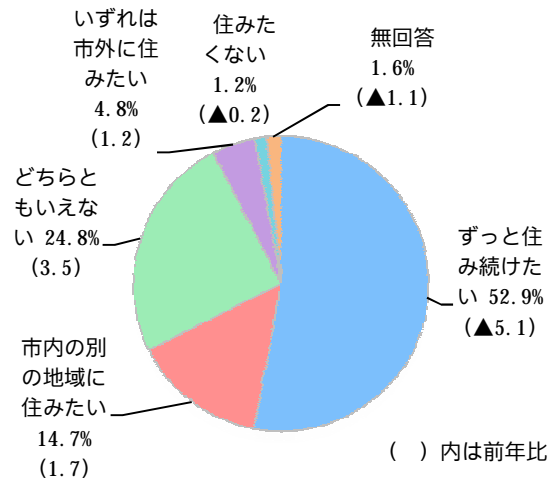


(2) 今後も郡山市に住みたいか聞きました。(1つ選択)

①全体

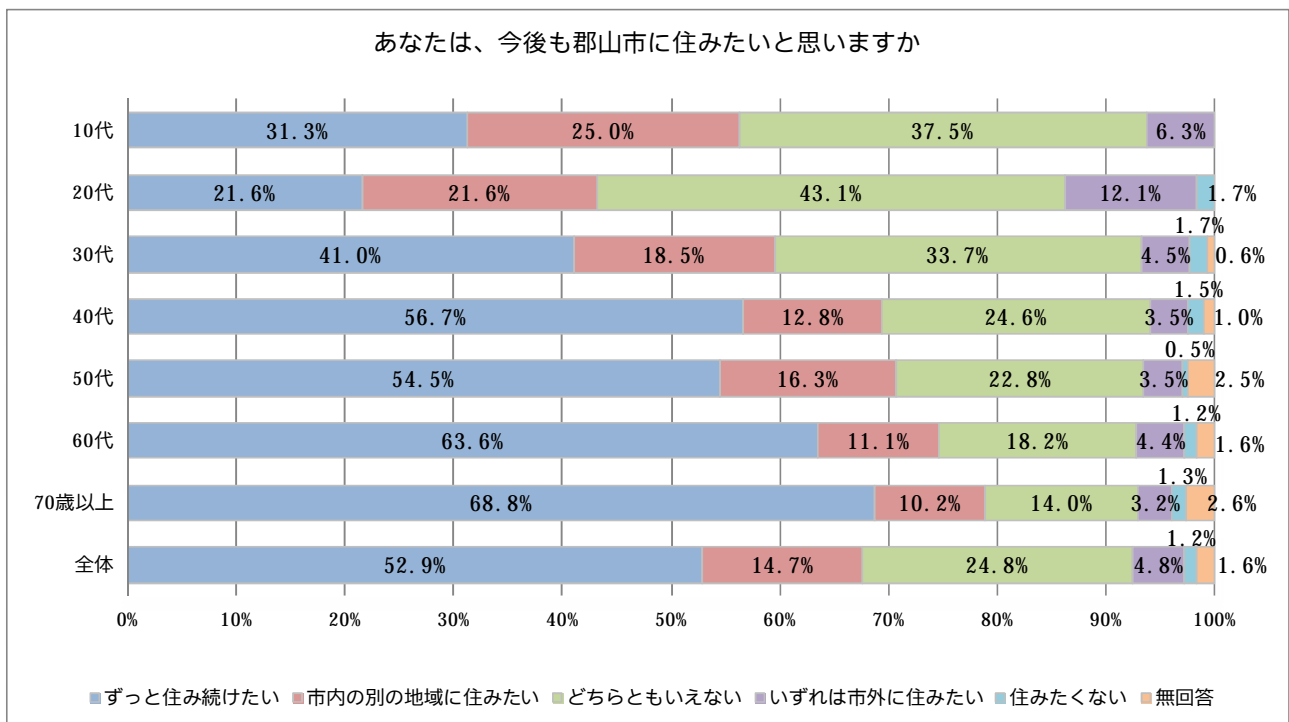
「ずっと住み続けたい」が52.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.8%となっています。
また、「いずれは市外に住みたい」は4.8%、「住みたくない」は1.2%となっています。

項目	回答数	回答率
ずっと住み続けたい	600	52.9%
市内の別の地域に住みたい	166	14.7%
どちらともいえない	281	24.8%
いずれは市外に住みたい	54	4.8%
住みたくない	14	1.2%
無回答	18	1.6%
計	1,133	100.0%



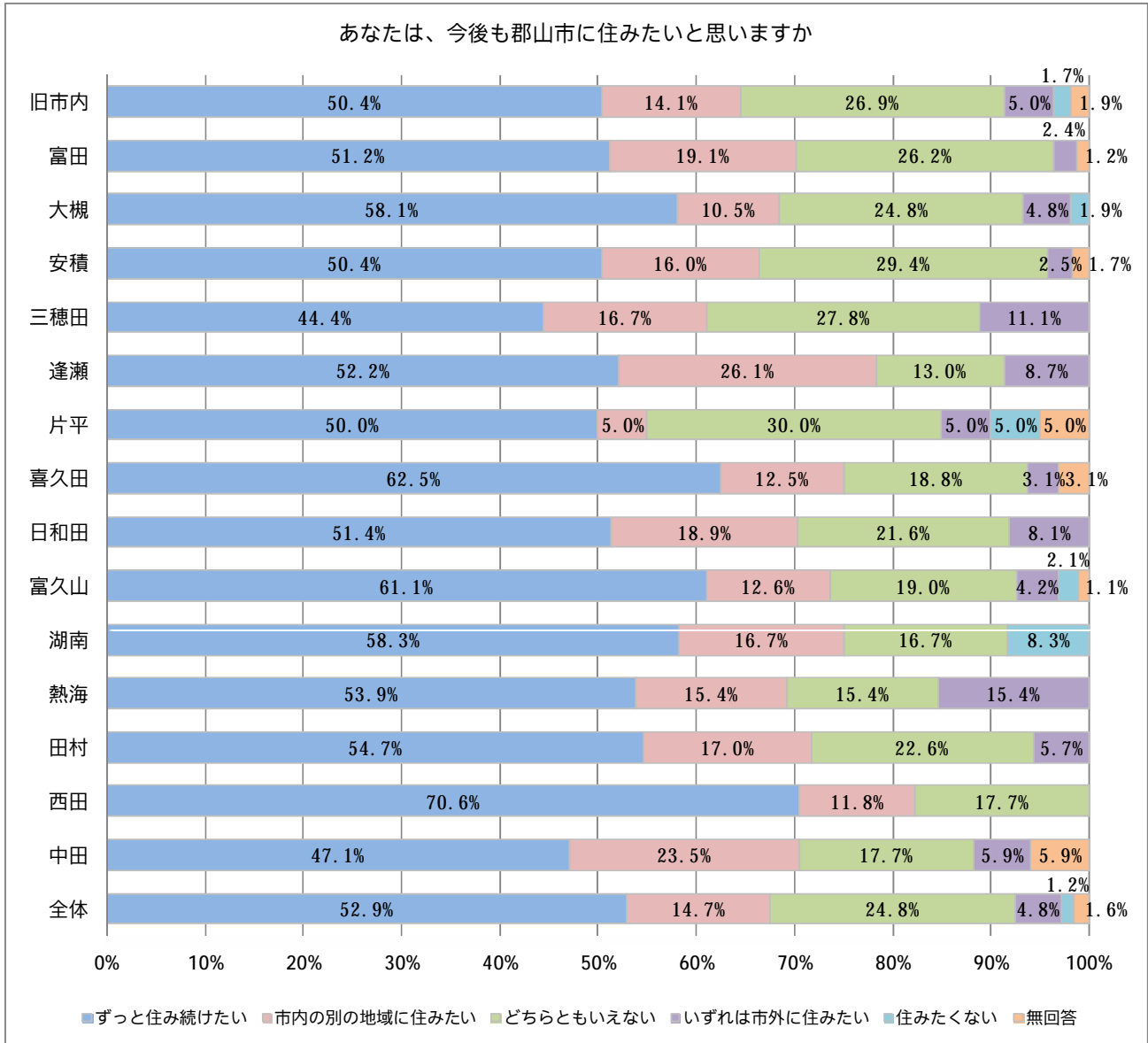
②年代別

「ずっと住み続けたい」と答えた割合が最も多かったのは、「70歳以上」の68.8%、次いで「60代」の63.6%、「40代」の56.7%となっています。



③地域別

「ずっと住み続けたい」と答えた割合が最も多かったのは、「西田」の70.6%、次いで「喜久田」の62.5%、「富久山」の61.1%となっています。



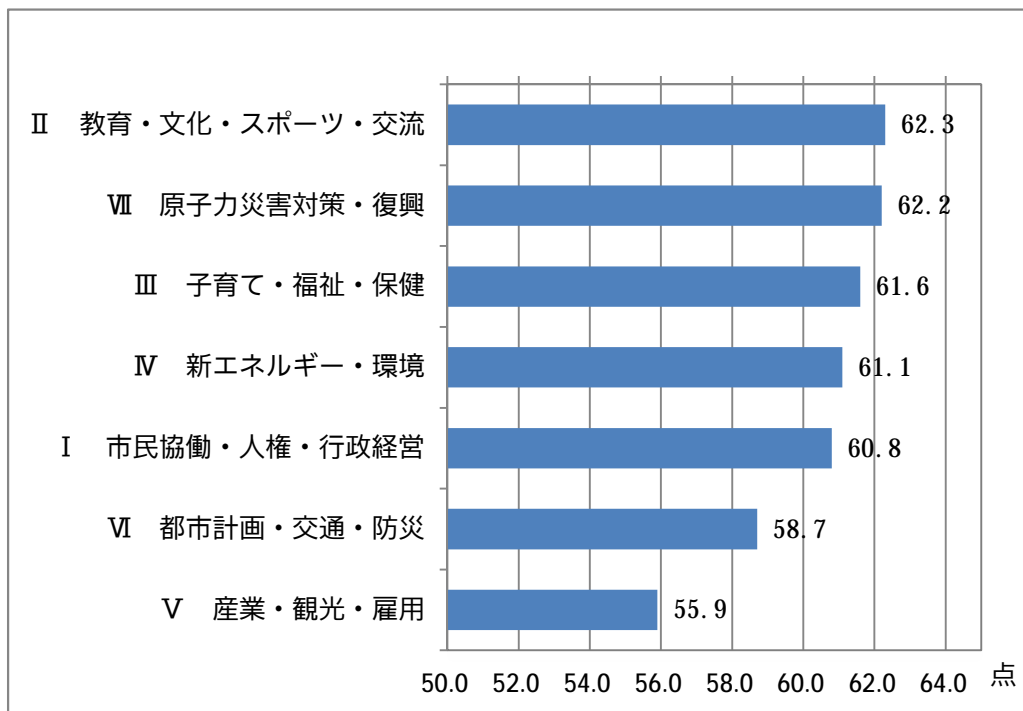
4 まちづくりについて【満足度】

(1) 分野別の満足度ランキング

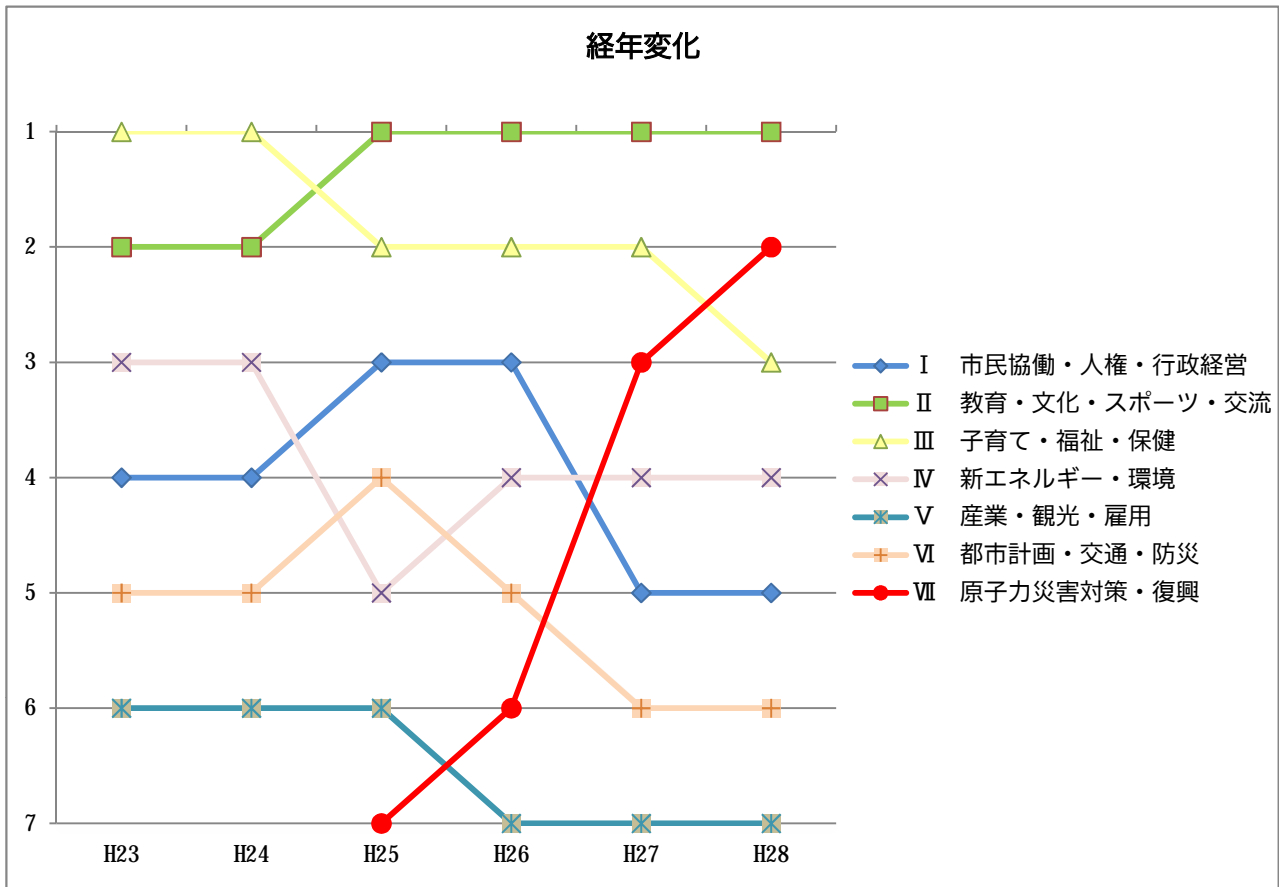
43項目（23ページ）の現在の取り組み状況について、それぞれに満足度を点数化し、各分野毎に平均点を求め、ランキングに表しました。（得点の出し方は23ページ）

満足度が最も高かったのは、「教育・文化・スポーツ・交流」の62.3点、次いで「原子力災害対策・復興」の62.2点、「子育て・福祉・保健」の61.6点となっています。

順位	前年度 順位		分野	点数
1位	(1位)	→	II 教育・文化・スポーツ・交流	62.3
2位	(3位)	→	VII 原子力災害対策・復興	62.2
3位	(2位)	→	III 子育て・福祉・保健	61.6
4位	(4位)	→	IV 新エネルギー・環境	61.1
5位	(5位)	→	I 市民協働・人権・行政経営	60.8
6位	(6位)	→	VI 都市計画・交通・防災	58.7
7位	(7位)	→	V 産業・観光・雇用	55.9



1位は「教育・文化・スポーツ」で昨年度から順位の変動はありませんでした。
 また、「原子力災害対策・復興」が昨年度の3位から2位に順位を上げ、「子育て・福祉・保健」が昨年度の2位から3位に順位を下げました。



(2) 項目別の満足度ランキング

43項目（23ページ）の現在の取り組み状況について、どのように感じているか選択（満足度）し、それぞれに点数化しランキングに表しました。（得点の出し方は23ページ）

「音楽都市こおりやま」や「生涯学習」「歴史・文化芸術」など、市民生活に潤いをプラスするための施策や、「医療」や「健康づくり」「生活衛生」など、市民生活に直接結びつく施策が上位にきています。また、「住環境」が大きく順位を上げ、「除染」も順位を上げています。

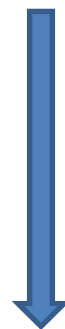
【満足度】平均60.4点

順位	前年度 順位		項目	点数
1位	(4位)	➡	I-2 広聴広報	69.6
2位	(1位)	➡	II-14 音楽都市こおりやま	69.2
3位	(3位)	➡	III-22 医療	66.9
4位	(8位)	➡	VII-40 除染	65.4
5位	(8位)	➡	III-21 健康づくり	64.5
5位	(18位)	⬆	IV-28 住環境	64.5
7位	(14位)	⬆	VII-41 健康管理	64.4
8位	(7位)	➡	III-23 生活衛生	64.2
9位	(2位)	⬇	II-12 生涯学習	63.9
10位	(6位)	➡	II-13 歴史・文化芸術	63.6
11位	(10位)	➡	IV-27 自然環境	63.1
12位	(5位)	⬇	IV-26 ごみ対策	62.9
13位	(12位)	➡	I-1 市民協働	62.3
14位	(11位)	➡	II-9 乳幼児教育	62.0
15位	(13位)	➡	II-10 学校教育	61.9
16位	(15位)	➡	VI-38 防災	61.6
17位	(17位)	➡	V-31 ショッピング・レジャー	60.9
18位	-	-	III-19 高齢者福祉	60.5
19位	(20位)	➡	III-17 子育て	60.4
20位	(23位)	➡	VII-42 子ども活動支援	60.3
21位	(21位)	➡	II-11 青少年の健全育成	60.2
22位	(16位)	⬇	II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1
23位	(19位)	➡	VI-37 交通・道路	60.0
24位	(34位)	⬆	I-7 高度情報化	59.6
25位	(30位)	⬆	I-8 広域行政	59.4
25位	(28位)	➡	IV-24 新エネルギー	59.4
27位	(24位)	➡	VI-39 防犯・交通安全・消費者対策	59.3
28位	(22位)	⬇	I-3 ユニバーサルデザイン	59.1
29位	(24位)	⬇	I-4 男女共同参画	59.0
30位	(32位)	➡	I-5 行政経営	58.8
31位	(27位)	➡	VII-43 風評の払しょく	58.6
32位	(26位)	⬇	I-6 シティプロモーション	58.5
33位	-	-	III-20 障がい者福祉	58.1
34位	(36位)	➡	II-16 都市交流・国際交流	57.1
35位	(33位)	➡	III-18 地域福祉	56.6
36位	(38位)	➡	V-34 6次産業化	56.5
37位	(29位)	⬇	V-29 農業	56.3
38位	(39位)	➡	IV-25 環境活動	55.9
39位	(37位)	➡	V-32 産業創出	55.7
40位	(34位)	⬇	V-30 地域商工業	55.4
41位	(41位)	➡	V-33 観光	54.8
42位	(40位)	➡	VI-36 計画的なまちづくり	53.9
43位	(42位)	➡	V-35 雇用促進	52.0

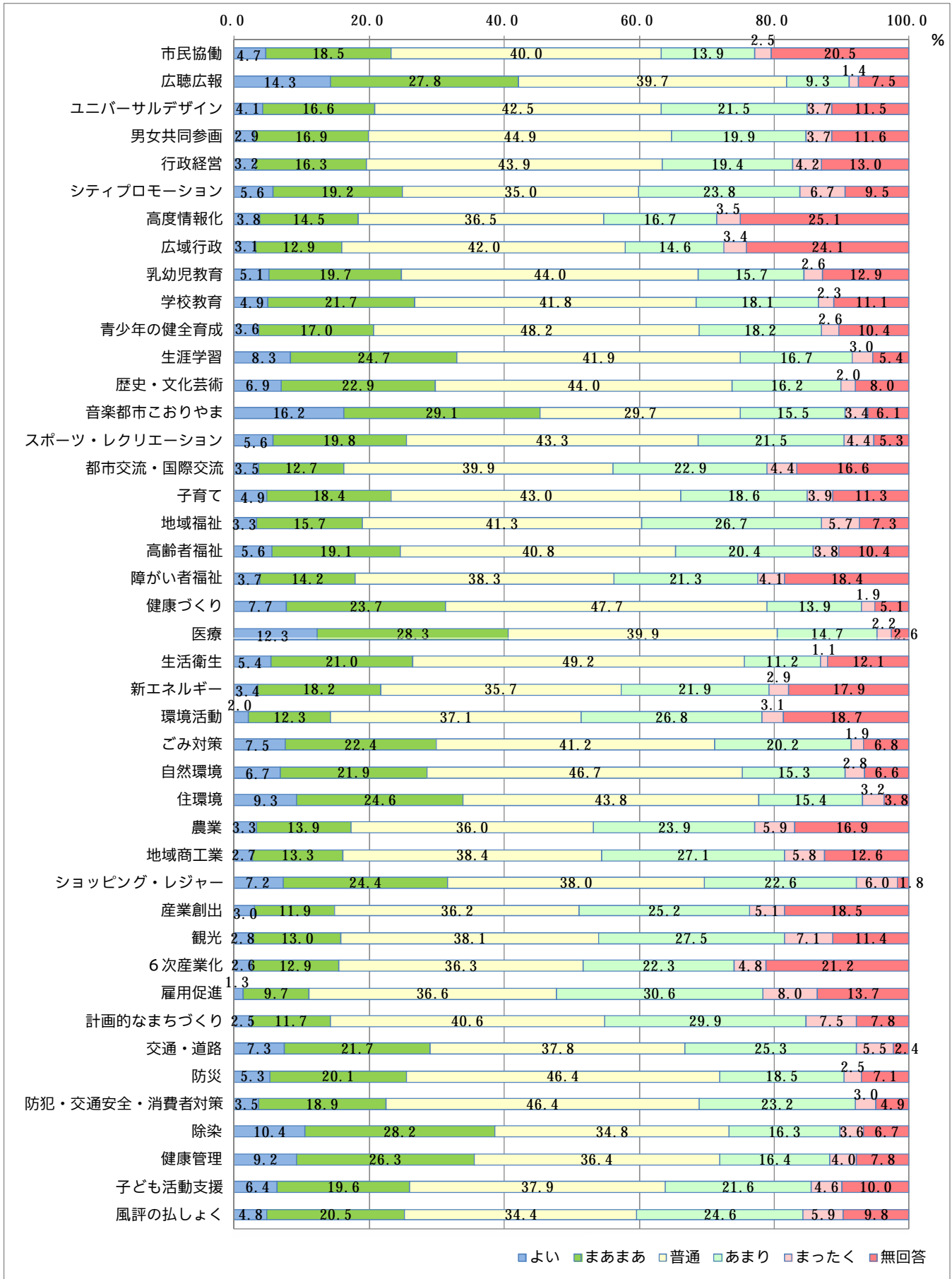
平均より高い



平均より低い



(3) 項目別の満足度回答状況

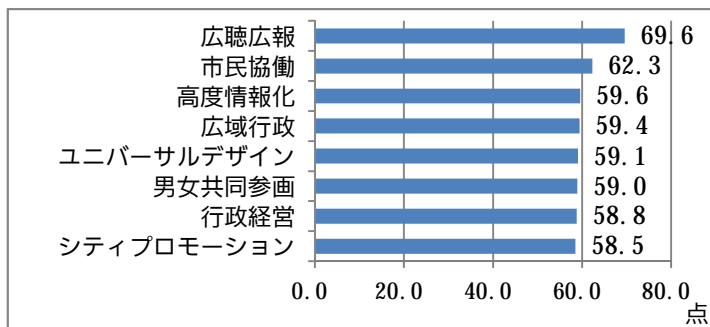


(4) 分野別・項目別の満足度ランキング

分野Ⅰ 市民協働・人権・行政経営

満足度が最も高かったのは、「広聴広報」の69.6点で、次いで「市民協働」の62.3点、「高度情報化」の59.6点となっています。

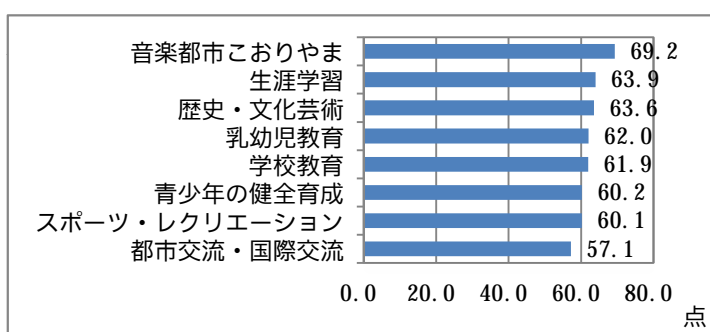
順位	項目	満足度
1	広聴広報	69.6
2	市民協働	62.3
3	高度情報化	59.6
4	広域行政	59.4
5	ユニバーサルデザイン	59.1
6	男女共同参画	59.0
7	行政経営	58.8
8	シティプロモーション	58.5



分野Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流

満足度が最も高かったのは、「音楽都市こおりやま」の69.2点、次いで「生涯学習」の63.9点、「歴史・文化芸術」の63.6点となっています。

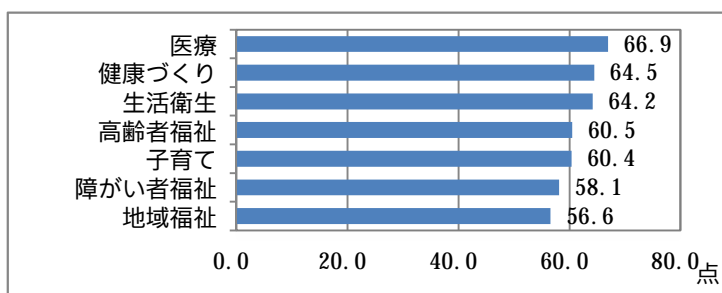
順位	項目	満足度
1	音楽都市こおりやま	69.2
2	生涯学習	63.9
3	歴史・文化芸術	63.6
4	乳幼児教育	62.0
5	学校教育	61.9
6	青少年の健全育成	60.2
7	スポーツ・レクリエーション	60.1
8	都市交流・国際交流	57.1



分野Ⅲ 子育て・福祉・保健

満足度が最も高かったのは、「医療」の66.9点、次いで「健康づくり」の64.5点、「生活衛生」の64.2点となっています。

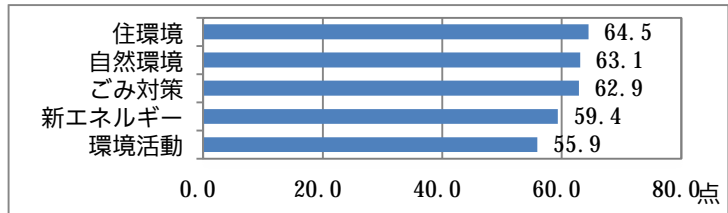
順位	項目	満足度
1	医療	66.9
2	健康づくり	64.5
3	生活衛生	64.2
4	高齢者福祉	60.5
5	子育て	60.4
6	障がい者福祉	58.1
7	地域福祉	56.6



分野Ⅳ 新エネルギー・環境

満足度が最も高かったのは、「住環境」の64.5点、次いで「自然環境」の63.1点、「ごみ対策」の62.9点となっています。

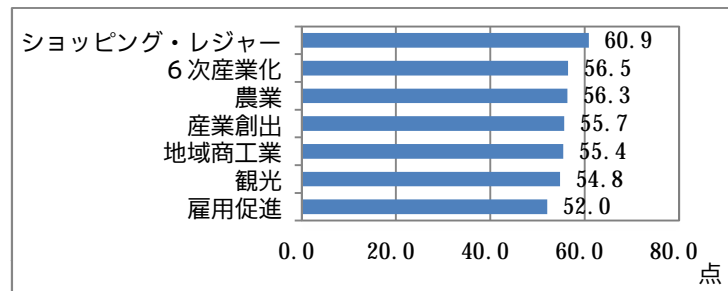
順位	項目	満足度
1	住環境	64.5
2	自然環境	63.1
3	ごみ対策	62.9
4	新エネルギー	59.4
5	環境活動	55.9



分野Ⅴ 産業・観光・雇用

満足度が最も高かったのは、「ショッピング・レジャー」の60.9点、次いで「6次産業化」56.5点、「農業」の56.3点となっています。

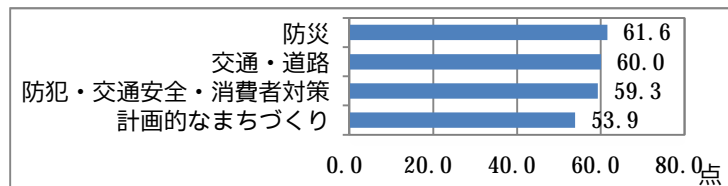
順位	項目	満足度
1	ショッピング・レジャー	60.9
2	6次産業化	56.5
3	農業	56.3
4	産業創出	55.7
5	地域商工業	55.4
6	観光	54.8
7	雇用促進	52.0



分野Ⅵ 都市計画・交通・防災

満足度が最も高かったのは、「防災」の61.6点、次いで「交通・道路」の60.0点、「防犯・交通安全・消費者対策」の59.3点となっています。

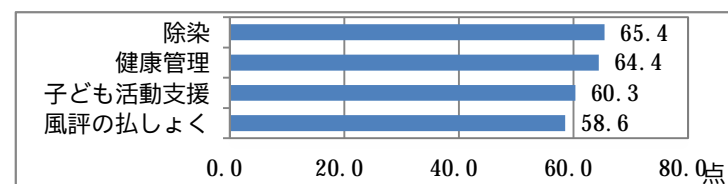
順位	項目	満足度
1	防災	61.6
2	交通・道路	60.0
3	防犯・交通安全・消費者対策	59.3
4	計画的なまちづくり	53.9



分野Ⅶ 原子力災害対策・復興

満足度が最も高かったのは、「除染」の65.4点、次いで「健康管理」の64.4点、「子ども活動支援」の60.3点となっています。

順位	項目	満足度
1	除染	65.4
2	健康管理	64.4
3	子ども活動支援	60.3
4	風評の払しょく	58.6



《参考》

◆得点の出し方

項目毎に配点し、「よい」＝5点を100点として計算（×20）したものに回答した人数を掛け、回答者の合計人数で割ります。（無回答は対象外）

満足度		得点
よい	→	5
まあまあ	→	4
普通	→	3
あまり	→	2
まったく	→	1

【得点の出し方】（「よい」＝5点を100点として計算）

$$\text{点数} = \frac{(\text{「よい」を選んだ人数}) \times 5 \text{点} + (\text{「まあまあ」を選んだ人数}) \times 4 \text{点} + (\text{「普通」を選んだ人数}) \times 3 \text{点} + (\text{「あまり」を選んだ人数}) \times 2 \text{点} + (\text{「まったく」を選んだ人数}) \times 1 \text{点}}{(\text{回答者の合計人数})} \times 20$$

例えば、「よい」162人、「まあまあ」315人、「普通」450人、「あまり」105人、「まったく」16人だと

$$\text{点数} = \frac{\underbrace{(162 \text{人}) \times 5 \text{点}}_{810} + \underbrace{(315 \text{人}) \times 4 \text{点}}_{1,260} + \underbrace{(450 \text{人}) \times 3 \text{点}}_{1,350} + \underbrace{(105 \text{人}) \times 2 \text{点}}_{210} + \underbrace{(16 \text{人}) \times 1 \text{点}}_{16}}{1,048 \text{人 (回答者の合計人数)}} \times 20 = 69.6 \text{ (点) となります。}$$

※仮に、回答者全員が「よい」を選択すれば、平均得点は5点（最高点）となり、100点となります。
また、回答者全員が「普通」を選択すれば、60点、回答者全員が「まったく」を選択すれば20点となります。

◆7分野43項目

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (7項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者福祉
		(20)障がい者福祉 (21)健康づくり (22)医療 (23)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(24)新エネルギー (25)環境活動 (26)ごみ対策
		(27)自然環境 (28)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(29)農業 (30)地域商工業 (31)ショッピング・レジャー
		(32)産業創出 (33)観光 (34)6次産業化 (35)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(36)計画的なまちづくり (37)交通・道路 (38)防災
		(39)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(40)除染 (41)健康管理 (42)子ども活動支援
		(43)風評の払しょく



『郡山市の情報を発信しています』

☆☆広報こおりやま☆☆



子育て情報や市政に関する情報など、読んで楽しい「広報こおりやま」。町内会や自治会を通じてお配りしているほか、公共機関などに備えてあります。毎月1日発行（市ウェブサイトでも公開しています。）

☆☆郡山市ウェブサイト☆☆



季節のイベントなど、旬な情報をお届けする「郡山市のポータルサイト」。知りたい情報を分かりやすくお伝えしております。

↓郡山市ウェブサイト

<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

☆☆郡山市公式フェイスブック☆☆



がんばっている皆さんのスマイルメッセージなど、郡山の元気や魅力を配信する「郡山市公式フェイスブック」。フェイスブックに登録していなくても市ウェブサイトからご覧になれます。

↓郡山市公式フェイスブック

<http://www.facebook.com/KoriyamaCity>

☆☆ツイッター☆☆



<がくとくんTwitter>

@gakuto.koriyama

<防災こおりやまTwitter>

@boudsai.koriyama

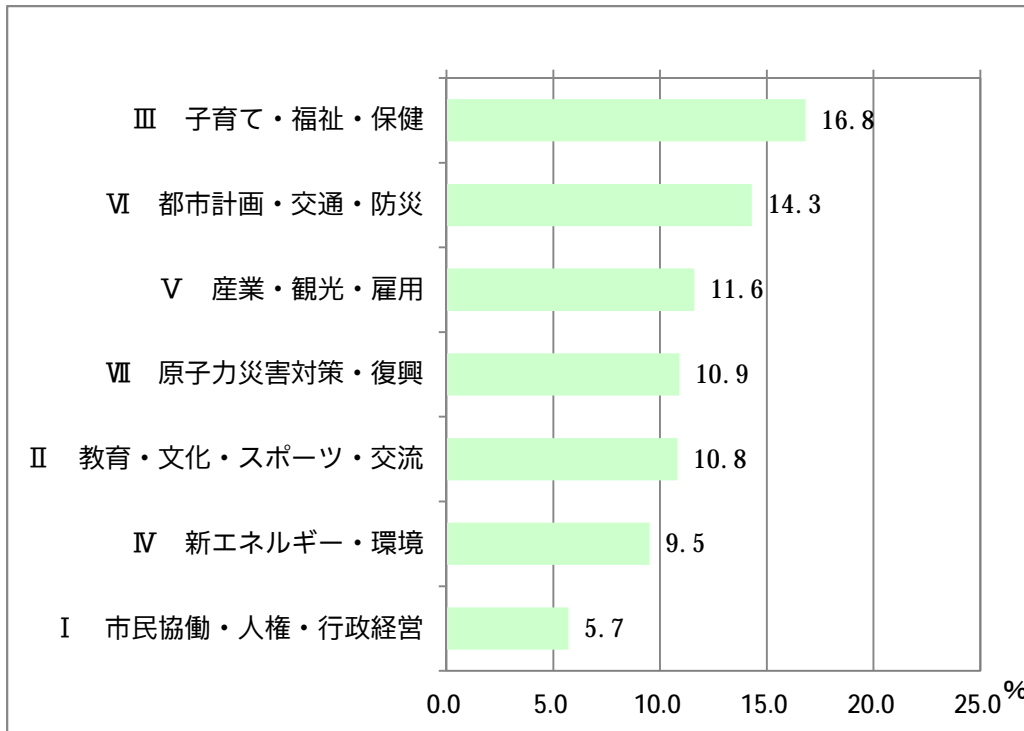
5 これからの取り組みについて【重要度】

(1) 分野別の重要度ランキング

42項目（31ページ）のうち今後重点的に取り組んでほしい取り組み（重要度）の回答率を、各分野毎に平均回答率を求め、ランキングに表しました。（回答率の出し方は31ページ）

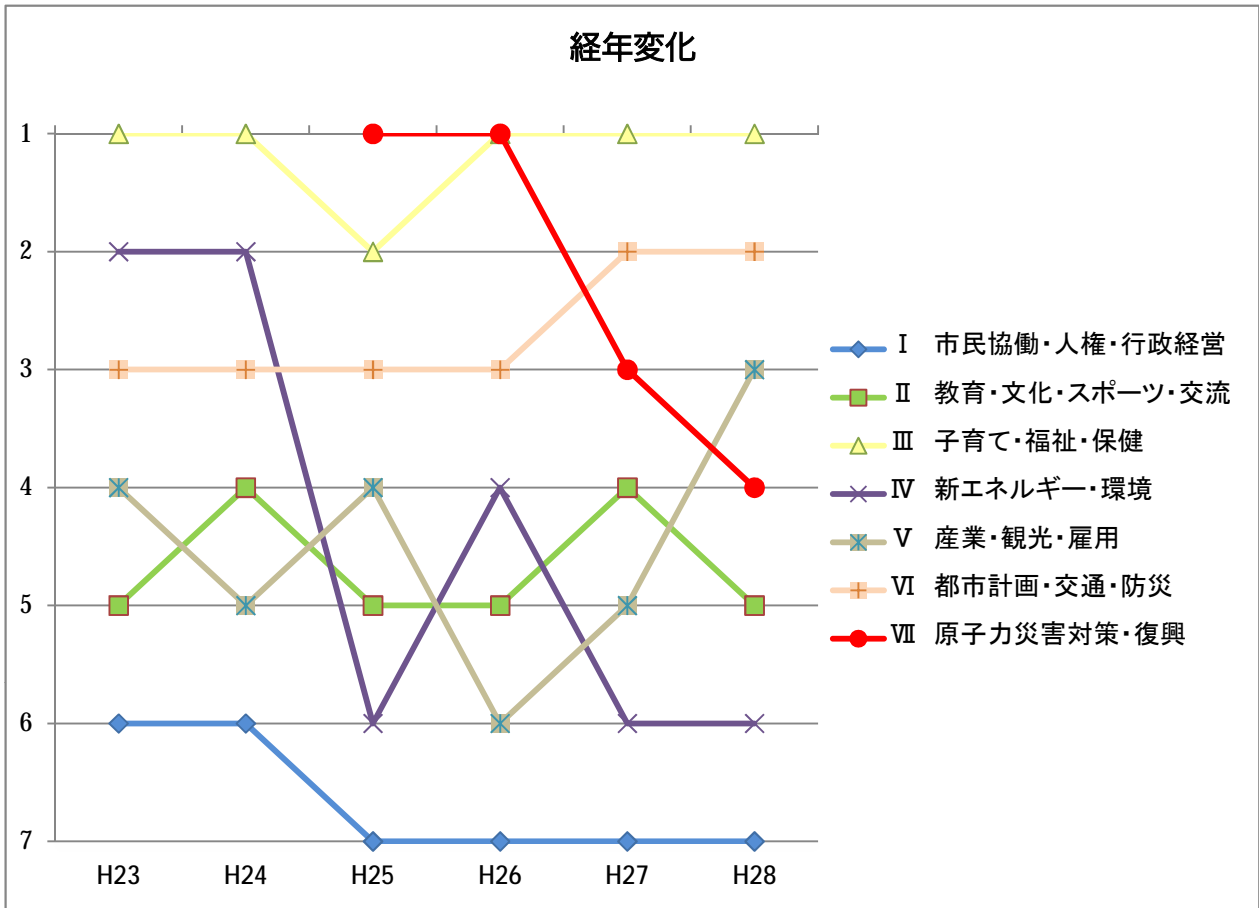
重要度が最も高かったのは、「子育て・福祉・保健」の16.8%、次いで「都市計画・交通・防災」の14.3%、「原子力災害対策・復興」の11.6%となっています。

順位	前年度 順位		分野	回答率
1位	(1位)	→	Ⅲ 子育て・福祉・保健	16.8
2位	(2位)	→	Ⅵ 都市計画・交通・防災	14.3
3位	(5位)	→	Ⅴ 産業・観光・雇用	11.6
4位	(3位)	→	Ⅶ 原子力災害対策・復興	10.9
5位	(4位)	→	Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流	10.8
6位	(6位)	→	Ⅳ 新エネルギー・環境	9.5
7位	(7位)	→	Ⅰ 市民協働・人権・行政経営	5.7



1位は「子育て・福祉・保健」、2位は「都市計画・交通・防災」と昨年度から順位の変動はありませんでした。

また、「産業・観光・雇用」が昨年度の5位から3位に順位を上げ、「原子力災害対策・復興」が3位から4位に、「教育・文化・スポーツ・交流」が4位から5位に順位を下げました。



(2) 項目別の重要度ランキング

43項目（31ページ）の取り組みから今後重点的に取り組んでほしいものを選択（重要度）し、それぞれの回答率をランキングに表しました。（回答率の出し方は31ページ）

「高齢者福祉」や「学校教育」「子育て」「医療」など、市民が生活していくうえで必要不可欠な施策や、「雇用促進」や「産業創出」など、未来に向けた施策が上位にきています。また、「観光」が大きく順位を上げ、「シティプロモーション」も順位を上げています。

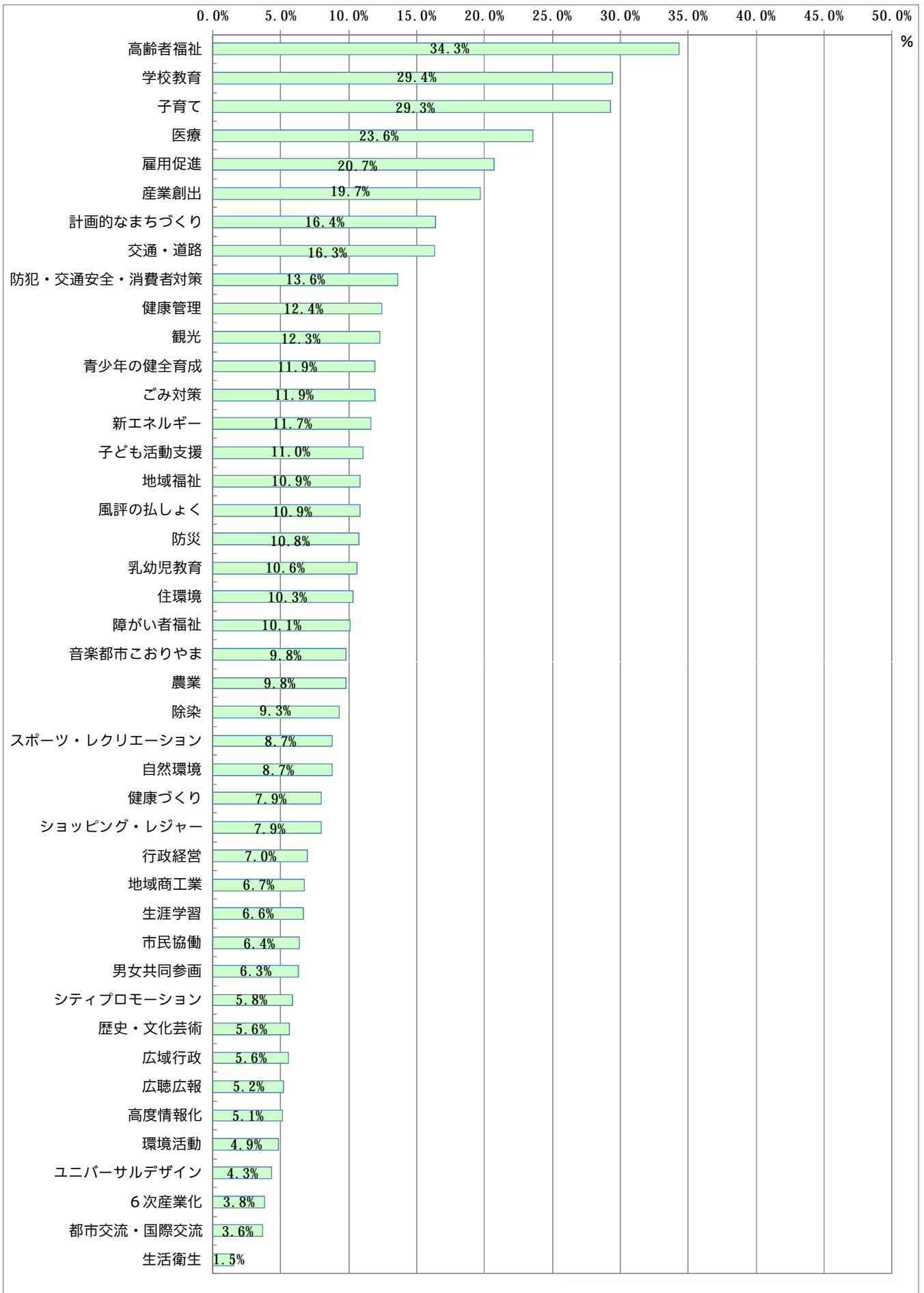
【重要度】平均11.1%

順位	前年度 順位		項目	回答率
1位	—	—	Ⅲ-19 高齢者福祉	34.3
2位	(2位)	→	Ⅱ-10 学校教育	29.4
3位	(2位)	↙	Ⅲ-17 子育て	29.3
4位	(4位)	→	Ⅲ-22 医療	23.6
5位	(5位)	→	V-35 雇用促進	20.7
6位	(10位)	↗	V-32 産業創出	19.7
7位	(5位)	↙	Ⅵ-36 計画的なまちづくり	16.4
8位	(7位)	↙	Ⅵ-37 交通・道路	16.3
9位	(8位)	↙	Ⅵ-39 防犯・交通安全・消費者対策	13.6
10位	(11位)	↗	Ⅶ-41 健康管理	12.4
11位	(19位)	↑	V-33 観光	12.3
12位	(9位)	↙	Ⅱ-11 青少年の健全育成	11.9
12位	(17位)	↑	Ⅳ-26 ごみ対策	11.9
14位	(14位)	→	Ⅳ-24 新エネルギー	11.7
15位	(13位)	↙	Ⅶ-42 子ども活動支援	11.0
16位	(16位)	→	Ⅲ-18 地域福祉	10.9
16位	(14位)	↙	Ⅶ-43 風評の払しょく	10.9
18位	(26位)	↑	Ⅵ-38 防災	10.8
19位	(20位)	↗	Ⅱ-9 乳幼児教育	10.6
20位	(18位)	↙	Ⅳ-28 住環境	10.3
21位	—	—	Ⅲ-20 障がい者福祉	10.1
22位	(22位)	→	Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	9.8
22位	(24位)	↗	V-29 農業	9.8
24位	(12位)	↓	Ⅶ-40 除染	9.3
25位	(22位)	↙	Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.7
25位	(25位)	→	Ⅳ-27 自然環境	8.7
27位	(27位)	→	Ⅲ-21 健康づくり	7.9
27位	(28位)	↙	V-31 ショッピング・レジャー	7.9
29位	(20位)	↓	I-5 行政経営	7.0
30位	(29位)	↙	V-30 地域商工業	6.7
31位	(34位)	↗	Ⅱ-12 生涯学習	6.6
32位	(31位)	↙	I-1 市民協働	6.4
33位	(32位)	↙	I-4 男女共同参画	6.3
34位	(40位)	↑	I-6 シティプロモーション	5.8
35位	(36位)	↙	Ⅱ-13 歴史・文化芸術	5.6
35位	(30位)	↓	I-8 広域行政	5.6
37位	(35位)	↙	I-2 広聴広報	5.2
38位	(37位)	↙	I-7 高度情報化	5.1
39位	(33位)	↓	Ⅳ-25 環境活動	4.9
40位	(38位)	↙	I-3 ユニバーサルデザイン	4.3
41位	(39位)	↙	V-34 6次産業化	3.8
42位	(40位)	↙	Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.6
43位	(42位)	→	Ⅲ-23 生活衛生	1.5

平均より高い



平均より低い

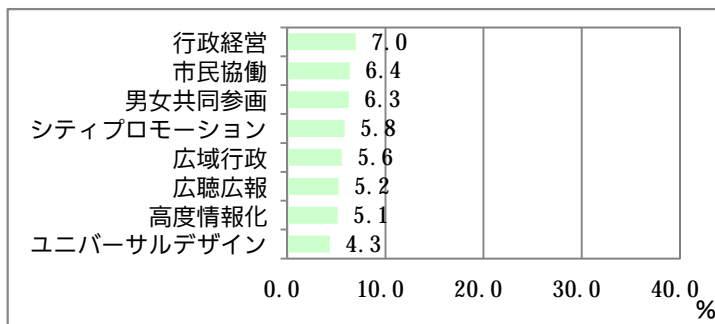


(3) 分野別・項目別の重要度ランキング

分野Ⅰ 市民協働・人権・行政経営

重要度が最も高かったのは、「行政経営」の7.0%で、次いで「市民協働」の6.4%、「男女共同参画」の6.3%となっています。

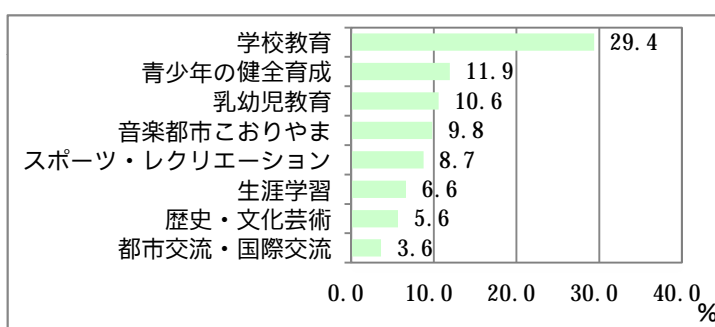
順位	項目	重要度
1	行政経営	7.0
2	市民協働	6.4
3	男女共同参画	6.3
4	シティプロモーション	5.8
5	広域行政	5.6
6	広聴広報	5.2
7	高度情報化	5.1
7	ユニバーサルデザイン	4.3



分野Ⅱ 教育・文化・スポーツ・交流

重要度が最も高かったのは、「学校教育」の29.4%、次いで「青少年の健全育成」の11.9%、「乳幼児教育」の10.6%となっています。

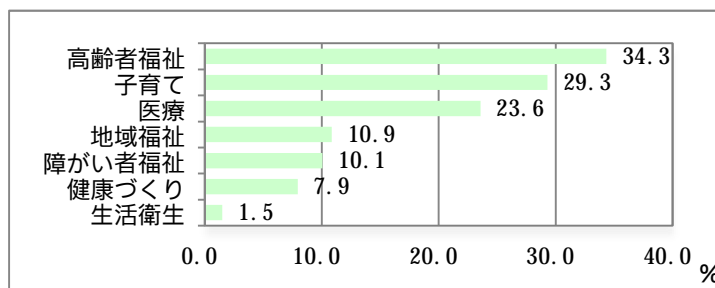
順位	項目	重要度
1	学校教育	29.4
2	青少年の健全育成	11.9
3	乳幼児教育	10.6
4	音楽都市こおりやま	9.8
5	スポーツ・レクリエーション	8.7
6	生涯学習	6.6
7	歴史・文化芸術	5.6
8	都市交流・国際交流	3.6



分野Ⅲ 子育て・福祉・保健

重要度が最も高かったのは、「高齢者福祉」の34.3%、次いで「子育て」の29.3%、「医療」の23.6%となっています。

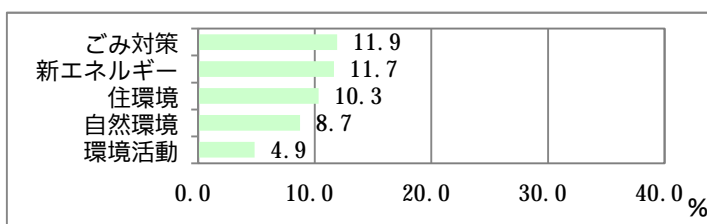
順位	項目	重要度
1	高齢者福祉	34.3
2	子育て	29.3
3	医療	23.6
4	地域福祉	10.9
5	障がい者福祉	10.1
6	健康づくり	7.9
7	生活衛生	1.5



分野Ⅳ 新エネルギー・環境

重要度が最も高かったのは、「ごみ対策」の11.9%、次いで「新エネルギー」の11.7%、「住環境」の10.3%となっています。

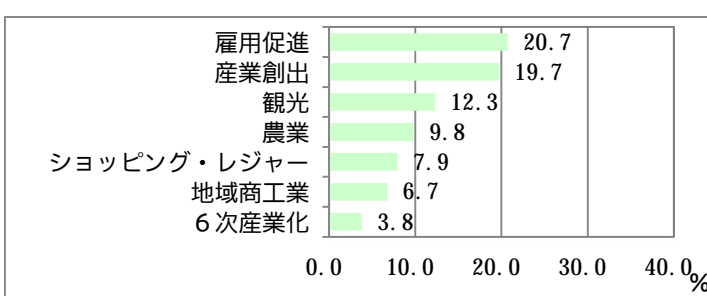
順位	項目	重要度
1	ごみ対策	11.9
2	新エネルギー	11.7
3	住環境	10.3
4	自然環境	8.7
5	環境活動	4.9



分野Ⅴ 産業・観光・雇用

重要度が最も高かったのは、「雇用促進」の20.7%、次いで「産業創出」の19.7%、「観光」の12.3%となっています。

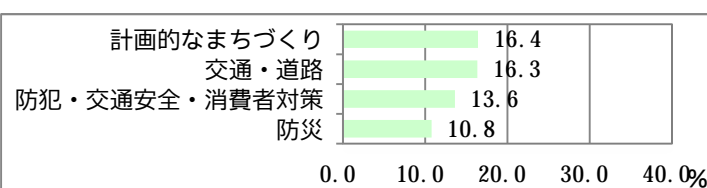
順位	項目	重要度
1	雇用促進	20.7
2	産業創出	19.7
3	観光	12.3
4	農業	9.8
5	ショッピング・レジャー	7.9
6	地域商工業	6.7
7	6次産業化	3.8



分野Ⅵ 都市計画・交通・防災

重要度が最も高かったのは、「計画的なまちづくり」の16.4%、次いで「交通・道路」の16.3%、「防犯・交通安全・消費者対策」の13.6%となっています。

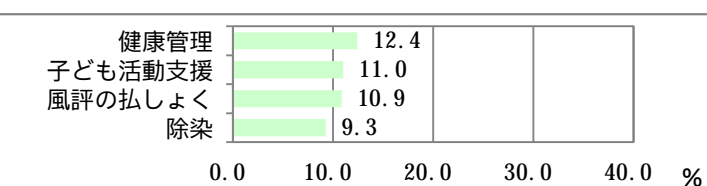
順位	項目	重要度
1	計画的なまちづくり	16.4
2	交通・道路	16.3
3	防犯・交通安全・消費者対策	13.6
4	防災	10.8



分野Ⅶ 原子力災害対策・復興

重要度が最も高かったのは、「健康管理」の12.4%、次いで「子ども活動支援」の11.0%、「風評の払しょく」の10.9%となっています。

順位	項目	重要度
1	健康管理	12.4
2	子ども活動支援	11.0
3	風評の払しょく	10.9
4	除染	9.3



《参考》

◆回答率の出し方

43項目から回答者1人当たり5つ選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

例えば、選択された数が389個だと

389個 / 1,133人（回答者数）

=34.3%となります。

◆7分野43項目

分 野		項 目
I (8項目)	市民協働・ 人権・行政経営	(1)市民協働 (2)広聴広報 (3)ユニバーサルデザイン
		(4)男女共同参画 (5)行政経営 (6)シティプロモーション
		(7)高度情報化 (8)広域行政
II (8項目)	教育・文化・ スポーツ・交流	(9)乳幼児教育 (10)学校教育 (11)青少年の健全育成
		(12)生涯学習 (13)歴史・文化芸術
		(14)音楽都市こおりやま (15)スポーツ・レクリエーション
		(16)都市交流・国際交流
III (7項目)	子育て・福祉・ 保健	(17)子育て (18)地域福祉 (19)高齢者福祉
		(20)障がい者福祉 (21)健康づくり (22)医療 (23)生活衛生
IV (5項目)	新エネルギー・ 環境	(24)新エネルギー (25)環境活動 (26)ごみ対策
		(27)自然環境 (28)住環境
V (7項目)	産業・観光・ 雇用	(29)農業 (30)地域商工業 (31)ショッピング・レジャー
		(32)産業創出 (33)観光 (34)6次産業化 (35)雇用促進
VI (4項目)	都市計画・ 交通・防災	(36)計画的なまちづくり (37)交通・道路 (38)防災
		(39)防犯・交通安全・消費者対策
VII (4項目)	原子力災害対策・ 復興	(40)除染 (41)健康管理 (42)子ども活動支援
		(43)風評の払しょく



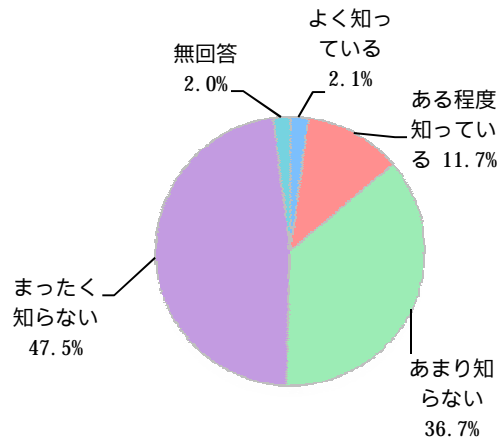
6 郡山市の新たなまちづくり基本指針について

(1) 郡山市の最上位計画である「第五次総合計画」を知っているか聞きました。
(1つ選択)

①全体

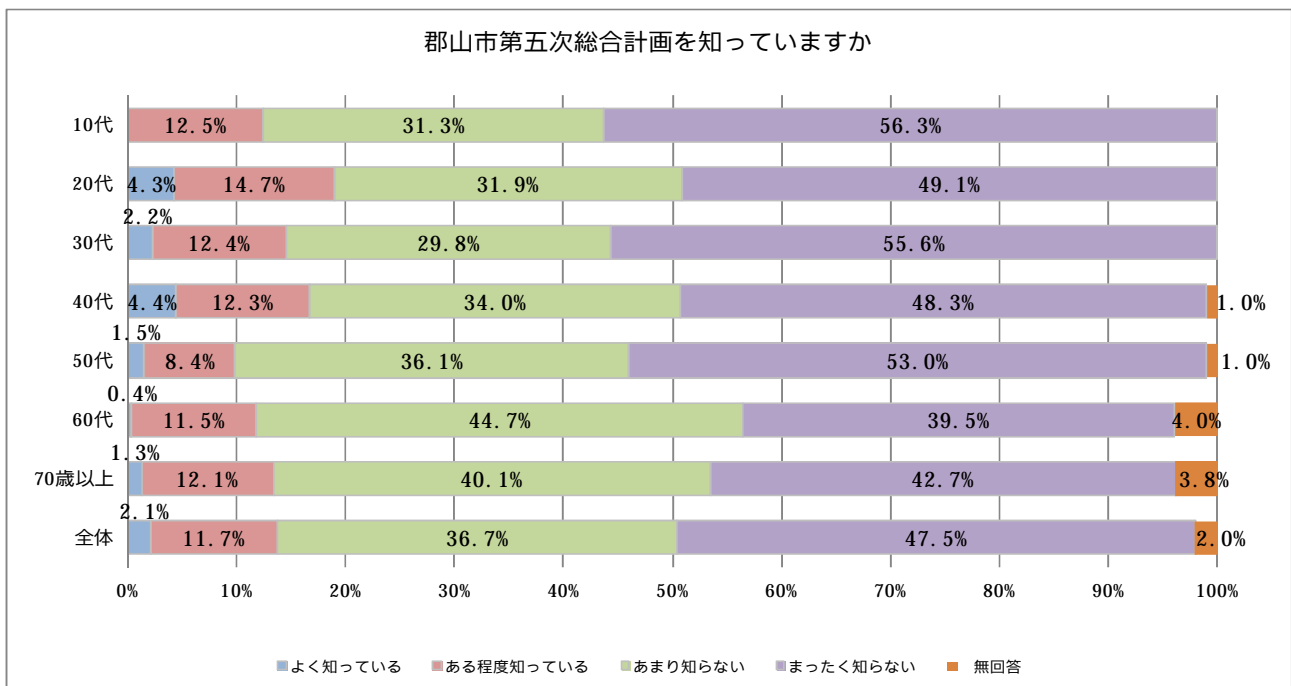
「まったく知らない」が47.5%と最も多く、次いで「あまり知らない」が36.7%となっています。
また、「ある程度知っている」は11.7%、「よく知っている」は2.1%となっています。

項目	回答数	回答率
よく知っている	24	2.1%
ある程度知っている	132	11.7%
あまり知らない	416	36.7%
まったく知らない	538	47.5%
無回答	23	2.0%
計	1,133	100.0%



②年代別

「よく知っている」「ある程度知っている」と答えた割合が最も多かったのは、「20代」の19.0%、次いで「40代」の16.7%、「30代」の14.6%となっています。

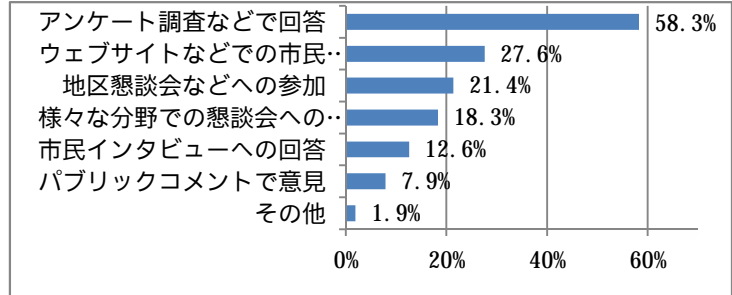


(2) 「第五次総合計画」に代わる、新たなまちづくり基本指針をはじめとする市政の運営方針策定にどのような手法で参加したいか聞きました。(複数選択)

①全体

「アンケート調査などで回答」が58.3%と最も多く、次いで「ウェブサイトなどでの市民提案」が27.6%、「地区懇談会などへの参加」が21.4%となっています。

項目	回答率
アンケート調査などで回答	58.3%
ウェブサイトなどでの市民提案	27.6%
地区懇談会などへの参加	21.4%
様々な分野での懇談会への参加	18.3%
市民インタビューへの回答	12.6%
パブリックコメントで意見	7.9%
その他	1.9%



◆回答率の出し方

7項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

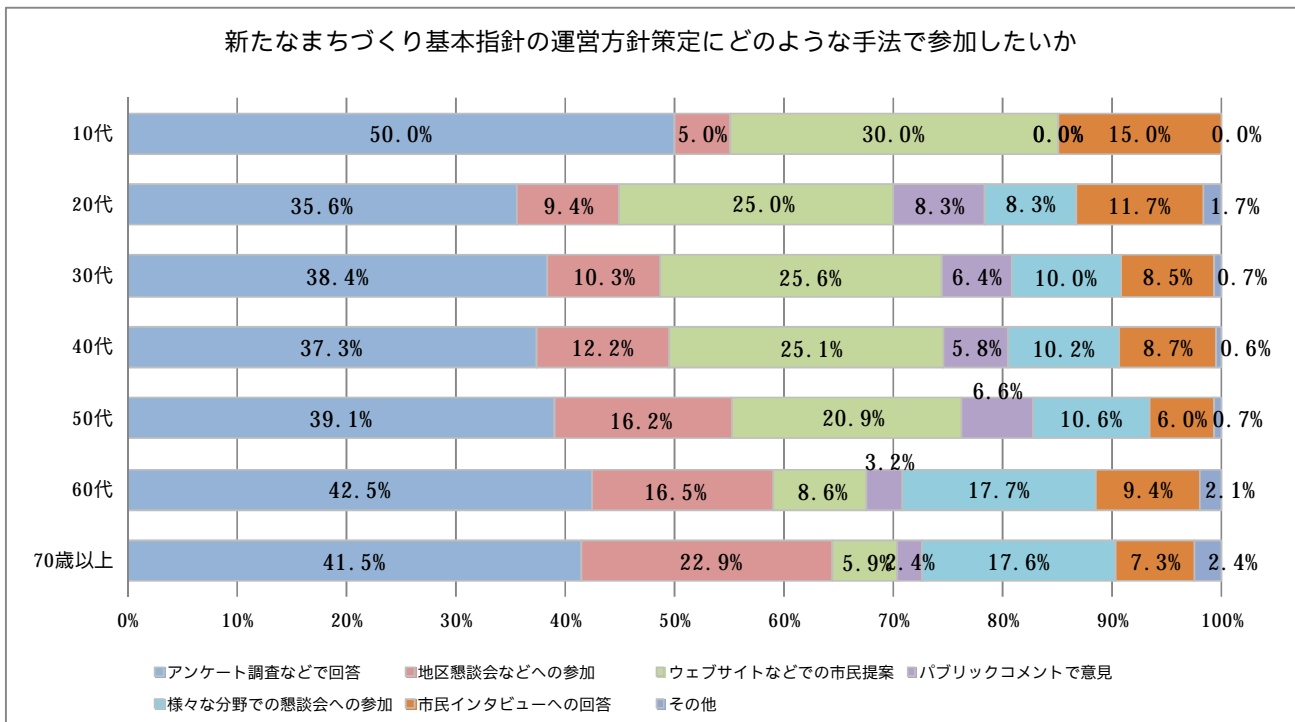
例えば、選択された数が661個だと

661個 / 1,133人 (回答者数)

=58.3%となります。

②年代別

「アンケート調査などで回答」が全年代で多く、「ウェブサイトなどでの市民提案」は年代が低くなるほど多く、「地区懇談会などへの参加」は年代が高くなるほど多くなっています。

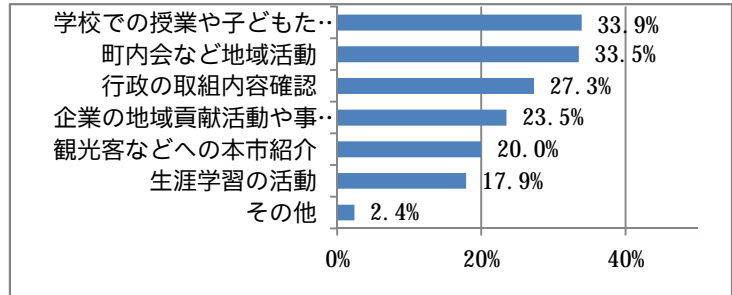


(3) 新たなまちづくり基本指針をどのような機会に活用したいか聞きました。
(複数選択)

①全体

「学校での授業や子どもたちの地域学習」が33.9%と最も多く、次いで「町内会など地域活動」が33.5%、「行政の取組内容確認」が27.3%となっています。

項目	回答率
学校での授業や子どもたちの地域学習	33.9%
町内会など地域活動	33.5%
行政の取組内容確認	27.3%
企業の地域貢献活動や事業創出	23.5%
観光客などへの本市紹介	20.0%
生涯学習の活動	17.9%
その他	2.4%



◆回答率の出し方

9項目からあてはまる番号を全て選択してもらい、選択された数の合計を回答者数で割ります。

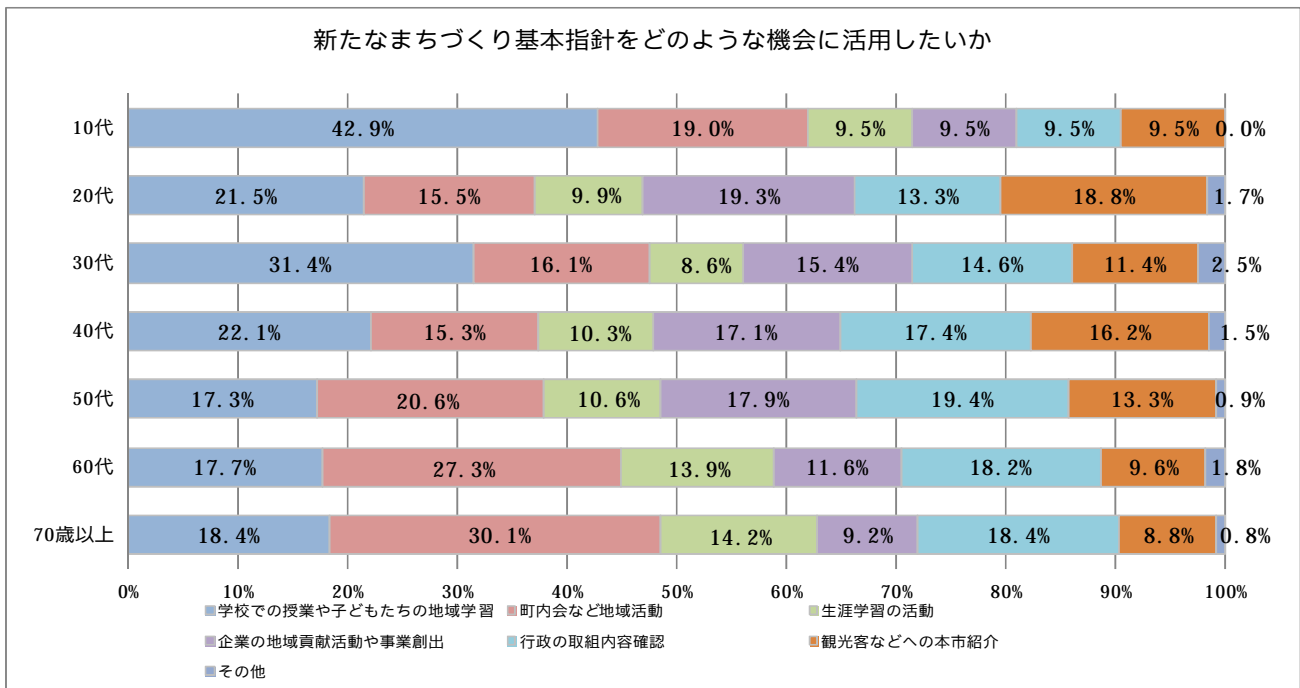
例えば、選択された数が384個だと

384個 / 1,133人 (回答者数)

=33.9%となります。

②年代別

「学校での授業や子どもたちの地域学習」が「10代」から「40代」で多く、「町内会など地域活動」や「行政の取組内容確認」は、「50代」から「70歳以上」で多くなっています。



III 自由意見

本調査にあたり、回答のあった1,133人の方からたくさんのご意見が寄せられました。その中から、主な意見を分野ごとに掲載いたします。

寄せられましたご意見につきましては、ここに掲載していないものも含め、今後の市政運営に活用させていただきます。

【分野 I】市民協働・人権・行政経営

【市民協働】

- ・今まで仕事中心の生活をして来たので、これから体力が続くかぎり町内の集まりには出席させていただいて、そしていろいろ教えていただいて、少しでも協力をしていければと考えています。(70歳以上・女性)
- ・町内会役員に手を挙げてくれる方が少なく、町内会を維持できるのか心配。(50代・男性)
- ・町内会運営に行政がもっと助言をしてほしいと思います。(60代・女性)
- ・高齢化が進み、若い世帯が少ない地区に住んでいます。町内会も65才以上が多く、班長や町内会長も70才以上の方が担っています。あと10年後のコミュニティーのあり方に不安を感じます。若い世帯が、情報共有できる場所があるといいなと思います。(30代・女性)

【広聴広報】

- ・広報こおりやまが、とても読みやすいです。これからも頑張ってください。(40代・男性)
- ・広報こおりやまは毎月楽しみにしております。(60代・女性)
- ・広報こおりやまについて、もう少々字が大きくなると良いのですが、無理でしょうか。(60代・女性)
- ・広報こおりやまの文字が小さい。もっと読みやすく。(30代・女性)
- ・広報こおりやま市政をただ載せているだけで、目を引くような見出し、読みたいと思う記事をつくって頂きたい。(30代・男性)
- ・広報こおりやまをフリーペーパーのように置くのは、お金の無駄使いにはならないでしょうか。(50代・女性)
- ・広報こおりやまをもっと良くしてほしい。ホチキス止め。(バラバラになって読みづらい。最後まで読むのが大変)表紙の紙質を少し良くし、家の中でみんなが手にとって読めるように(破れるのを防ぐ、高級感)。(30代・男性)
- ・ウェブサイトは時々利用しているが、もう少しやわらかい感じが良いのでは。(40代・女性)
- ・ウェブサイトの更新が遅い。最新の情報を素早く発信してほしいと思う。(40代・女性)
- ・市の広報活動は良いと思うが、出すだけで市民に届いているのかの確かめがほしい。出すだけではダメである。(70歳以上・女性)
- ・情報の発信量が少ないのではないかと。他の市町村は、ニュースをうまく利用して情報発信をしていると思う。(60代・女性)
- ・郡山市のホームページで、市民の声に対する回答がいつも曖昧で、回答になっていない事が多い。検討する、取り組むとよく回答されているが、実現したことはないのではないかと。行動が遅いと感じる。(30代・男性)
- ・この様なアンケートは市民の声を聞くには大変有効だと思いますが、手間とお金もかかるのですね。市役所や行政センター、公共の場に同類のアンケート用紙を置いて書いて頂くのはどうでしょうか。(60歳・女性)

【ユニバーサルデザイン】

- ・歩道の段差が気になる。(20代・女性)
- ・障がい者を考慮した公共の建物などが、まだ不十分のように思われます。(60代・女性)
- ・その名ばかりが叫ばれ新しいものへの取り組みばかりで、古いもの(建物)の改革がないように感じます。(30代・女性)

【男女共同参画】

- ・家庭に入ってしまうと、社会とは孤立してしまいます。(40代・女性)

【行政経営】

- ・20年後、30年後に郡山市が人口減になる事を想定し、今後どうあるべきか方針を明確にするべきです。(50代・男性)
- ・休日でも各種手続きができるようにしてほしい。(30代・男性)
- ・10年前と比較すると、ビッグアイで行政手続きが少しできるようになったが、銀行窓口も土、日、祝日行方時代になってきているので、市役所も当番制で一般業務を行えるようにしてほしい。(40代・女性)
- ・常に市民ファーストの気持ちで対応を。(70歳以上・男性)
- ・市民主体ではなく感じています。(20代・女性)
- ・とにかく行動が遅い。スピードをもって改革を進めて欲しいです。10年前ほどに郡山に来ましたが、何も進歩していないと感じています。本気で郡山を良い市にしたいならば、行動してください。期待しています。(30代・男性)

【シティプロモーション】

- ・がくとくんも可愛いし、郡山市のイメージアップに繋がっている。(40代・女性)
- ・車の郡山ナンバーについては発信されたが、他の分野についてはまだ弱い。福島から離脱するぐらいの、強烈的な郡山市独自の取り組みが必要。(60代・男性)
- ・県外の方と接する機会が多い職業ですが、福島県=会津のイメージが強いらしく、郡山ももっと田舎かと思ったけど意外と都会ですね、とよく言われます。でも逆をいえば、郡山の印象が薄いということなのかなと。もっと個性を出すプロモーションをしていけるといいのではと思います。(40代・女性)

【高度情報化】

- ・wi-fiの整備をしてほしい。(20代・女性)
- ・何でも「インターネットで」と言っているが、セキュリティはどうなっているか心配。(70歳以上・女性)
- ・インターネットの使えない年代のことを考えてほしい。(60代・女性)

【広域連携】

- ・安心・安全・安定した市政のため、各所との連携強化を。(70歳以上・男性)

【分野Ⅱ】教育・文化・スポーツ・交流**【乳幼児教育】**

- ・地域、学校、家庭の連携が希薄。(20代・女性)
- ・親のモラル等も低下し、家庭教育だけでは足りないと思うので、幼児からの人づくりに力を入れてほしい。(30代・男性)

【学校教育】

- ・義務教育で、学校により差があるように思う。学力面で特に感じられる。不安が大きい。(40代・女性)
- ・学校教育の低下が見受けられます。先生方の業務の効率化を図り、原点に戻り子ども達と向き合ってもらいたい。(40代・男性)
- ・学校(先生)によって授業の進み方が全然違うので、地域で学力の差が出来る。(40代・女性)
- ・全国レベルが低いので、もっと教育に力を入れて下さい。(60代・男性)
- ・英語教育の場がもっとあれば良い。(30代・男性)
- ・教育にお金をかけることは絶対に必要だと思うが、人(指導者)にかけるようにすべきだと思う。(60代・男性)
- ・学校で早くからパソコン(タブレット)を取り入れたり、まわりの市町村よりも1歩進んだ教育に取り組んでいると思います。(50代・女性)
- ・小学生の鼓笛隊パレードが中止になったことが、残念でなりません。鼓笛隊の発表の機会が、各学校内での行事のみで、子供達の発表の機会が少ないです。(60代・女性)

【青少年の健全育成】

- ・子は宝なので、子ども達が安心して暮らしていける体制を今後もつくってほしいと思います。(30代・女性)
- ・ひきこもりの青年が多くなっている中、それに対する取り組みが少ないように思います。(40代・女性)

【生涯学習】

- ・現在、中央公民館に自由に学習できる場所がありますが、もっと増やしてほしいと思います。(50代・女性)
- ・作品発表のため場所(ギャラリー)がほしい。(50代・男性)
- ・博物館・科学館など学習施設がほしい。(30代・男性)
- ・学校以外で学習ができる場所が少ないように感じます。学習室の設置などをお願いしたいです。(20代・女性)
- ・公民館や図書館などを青少年が学習できるよう開放してほしい。(50代・女性)
- ・自由に学習できる場(中学生や高校生が、自習できるような場)が郊外には少ない。結局、市立図書館に集中していて利用しづらい。(40代・女性)
- ・生涯学習等行われていますが、時間託児等働くママ世代には参加が難しいです。図書館の本は充実していますが、駐車場が狭くいつもいっぱいです。(30代・女性)
- ・市民シニア講座が色々あり、楽しみです。(60代・女性)
- ・主人が退職してから、公民館行事に参加する機会が増えて楽しんでいます。(60代・女性)

【歴史・文化芸術】

- ・郡山の歴史遺産を保全してほしい。(70歳以上・男性)
- ・今まで継承されていた町内の秋祭りが無くなり、子ども神輿を担ぐ子どもたちの声が聞けなくなったのは、非常に残念です。(50代・女性)
- ・文化芸術についての市の対応が良くない。経済も大切だが、文化はそれより大切。(70歳以上・女性)

【音楽都市こおりやま】

- ・楽都郡山の後世への継承を進めて下さい。「合唱の街郡山」市民の誇りです。(50代・男性)
- ・音楽に関しては、全国に名を轟かしている所以市民としては誇りに思っています。(60代・男性)
- ・子どもが1/2成人を迎え、市で招待して下さる音楽のコンサート(市民文化センターにて)を喜んでいました。さすが楽都郡山です。他に無い取り組みなので、継続した方が良い。(40代・女性)
- ・音楽活動がもっと自由に行える場所、施設を増やすなどして、音楽支援をもう少しがんばってほしい。(20代・女性)
- ・屋内外に問わず、もっと多くの音楽イベントをやって欲しいです。(40代・男性)
- ・「音楽都市」合唱ばかり。いろいろな音楽に、平等に目を向けてください。(60代・女性)
- ・音楽都市といえ、中学・高校に頼っているのはダメ。一般市民のレベルアップを望む。(70歳以上・女性)
- ・「音楽都市」と言っているわりに、音響設備が整ったホールがない。(50代・女性)
- ・「楽都」と最近よく言われていますが、その割には、あまり浸透していないような気がします。私はあまりこの言葉は好きではないです。(30代・女性)

【スポーツ・レクリエーション】

- ・運動施設の利用料が安くて良い。(20代・女性)
- ・屋根付きのフットサル場(サッカー場)がほしい。(30代・女性)
- ・体育館の数が、人口の割に少ないのでは。(40代・女性)
- ・東部地区にも体育館やプールが必要。(30代・男性)
- ・総合体育館のようなスポーツ施設が、増えればいいなと思います。小さくてもいいので、卓球場とかバドミントンができるような場所とか。(40代・女性)
- ・トレーニング器具を揃えて、市民が低価格で利用できる施設をつくってほしい。(20代・女性)
- ・スポーツ、イベント等他の市より少なく、人が集まる機会が少なすぎる。市の努力が必要だと思う。(60代・男性)
- ・市役所近辺に、スポーツ施設や開成山公園などがありますが、イベントの際の駐車場の数が少なすぎると思います。(50代・女性)

【都市交流・国際交流】

- ・郡山市以外の地域との交流により、市民の自分の居住地の魅力を再確認し、更に郷土への向上心が持てるようになるのではないのでしょうか。特に若い方々の交流は、意義があると思います。(60代・女性)
- ・在住外国人とのふれあいの場を設けてはいかがかなと。(50代・女性)

【分野Ⅲ】子育て・福祉・保健**【子育て】**

- ・保育所や児童クラブ等、親が働いていても安心して預けられる場所をもっと増やしてほしい。保育料も高い。子供を育てやすい環境ではない。家族(子供)を増やしたくても保育料が高くて、子供を産むことをためらってしまう。(30代・男性)
- ・私はこれから出産を控えており、育休ではなく退職することにしました。理由は、先輩ママが育休中に保育園がなかなか決まらず、会社からいい顔されなかったこと。決まらなければそのまま退職を勧められたそうです。私自身もそのように感じたからです。制度はあっても無いようなものだと感じ、もっと力を入れて頂きたいなと思いました。働く親が安心して預けられる環境を期待ます。(20代・女性)
- ・幼稚園を無料化にしてほしい。(30代・男性)
- ・インフルエンザの予防接種の料金だけでも、子どもだけ無料にしてほしい。毎年、家族全員接種となると、数万円はいくので結構きついです。(20代・女性)
- ・子育てへの投資が、郡山を元気あるものにする。市立保育所を増設すべき。正規保母を増員すべき。(60代・女性)
- ・ショッピングセンターで買物すると、オムツ数枚がおまけでつくなどの支援が必要。(20代・女性)

【地域福祉】

- ・高齢者の一人暮らしにとっても親切。(民生員など) (60代・男性)
- ・高齢者が互いに交流を持ち、若い方々とも交流できる様な機会が多くあると、もっと充実した福祉が図れると思う。高齢者は孤独です。(50代・女性)
- ・地域交流の場が無い。(60代・女性)

【高齢者福祉】

- ・高齢になっても、年金で暮らせるような安心な街づくりをしてほしい。(50代・女性)
- ・高齢者に対しては、本人がもっと分かりやすい情報ツールがあると良いかと思います。(30代・女性)
- ・高齢者の免許の返納。これらの交通手段。(60代・男性)
- ・高齢者になるにつれ、病院通いは大変だと思います。車の運転は出来ないし、タクシーしか手段は無いと思います。高齢者の何歳以上は、通院に限りタクシー代を無料にするか、安い料金で乗れる様な制度が出来ればと願っています。(60代・女性)
- ・子育てには手当がありますが、介護には手当がありません。同居して介護して負担が多いのにも関わらず、支援していただけないのは残念です。自宅での介護で介護保険の利用もずいぶん少なくして(施設入所に比べたらかなり安いと思います)何か同居手当などあったら励みになります。(40代・女性)
- ・市の美術館等の高齢の優遇には、感謝しております。(70歳以上・女性)

【障がい者福祉】

- ・身体障がい者用トイレのある所の場所が分かるマップを、身体障がい者に配布して頂けたら幸いです。出掛けるときに、トイレ探しが大変苦労してます。(70歳以上・男性)
- ・乳幼児障がい者に対するサポートなど、福島県内においても他地域に比べ遅れている。(40代・男性)

- ・障がい者就労支援など、自立できる様なサポートが不十分と思われる。(50代・女性)
- ・障がい者の手当て等の基準が厳しく、障がい者の家族には福祉サービスが感じられない。(40代・男性)

【健康づくり】

- ・無料で受けられるがん検診は嬉しいです。(60代・女性)
- ・市で行われている健康診断などは仕事をしていると、なかなか平日には行けません。(40代・女性)
- ・大々的な市民総参加の健康増進イベントを立ち上げ、継続していく必要がある。(60代・男性)

【医療】

- ・郡山は、県内でも医療機関が多い市です。(60代・男性)
- ・現代病的なカウンセリングを主体とするような医療機関が、もう少しあって充実してくれたらと思います。(50代・女性)
- ・医療を考える時、我が街では医院がまだあり、年寄りでもいつも満員だ。医者も高齢であり、もしこの医院がなくなったらと、よくそんな話が出る。(70歳以上・女性)
- ・分娩が行える病院が少ないと思います。(30代・女性)
- ・病院は数が多く便利だと思うのだが、どこも混雑が見られるのは何故か。(40代・女性)

【生活衛生】

- ・市民の生活パターンも多様化し、便利で利用しやすい形の営業施設も多くつくられています。しかし、一部にはこの事が重視され、衛生面、安全面がどうかとも思います。(60代・女性)

【分野Ⅳ】新エネルギー・環境

【新エネルギー】

- ・原発事故後、テレビ報道でしか分からないが、新たなエネルギーを取り込んでいくことは、郡山市の発展として素晴らしいと思う。(40代・女性)
- ・布引高原の風力発電や、水力発電など取り組みが進んでいる。(40代・男性)
- ・太陽光発電の市民意識を高めて、エネルギー環境保全対策が必要。太陽光発電設置への助成金制度の拡充を望む。(60代・男性)
- ・新築住宅には、太陽光発電を義務付けることがあっても良いのではないかと。自分で使用する電気は、自分で作れるようにした方が良い。(60代・男性)
- ・太陽光パネルが増えて(空き地だった所に)いることは結構だが、県外の方の利益目的だけのものに思えてならない。(50代・女性)

【環境活動】

- ・資源回収について、ごみの回収も分別が進んでおり、スーパーでも回収コーナーが住民に定着していると思います。(40代・女性)
- ・地球温暖化が大きな問題になっていますが、夜間営業の照明や冬のイルミネーションなどムダと思う所はあります。(60代・女性)

【ごみ対策】

- ・ごみの分別は、もっと徹底してほしい。(30代・男性)

- ・家庭で不要となった古着などを自治体で回収し、様々なところで利用していただけたらと思う。
(50代・女性)
- ・ごみの中には、まだ使える物があると思うので、粗大ごみなどが再利用できるフリーマーケットなどを、市で開催すればごみも減るのではないのでしょうか？(40代・女性)
- ・先日夜の駅前に行ったところ、バスターミナルにごみが散乱していました。使う人のマナーの悪さだとは思いますが、郡山はごみの少ない綺麗な街のイメージだったので、少しがっかりしました。(50代・女性)
- ・アパートが多く、ルールを守らず適当にごみを出す方も多く見られます。ごみ当番の際に大変困ることがあり、何とかならないものかといつも感じております。(50代・女性)

【自然環境】

- ・家の周りには下水道も公園もありませんが、虫だったり、花だったり自然を感じて暮らせればと思います。(50代・男性)
- ・郡山市は山、湖、川、豊かな自然資源がある。しかし、活かされていない。(70歳以上・男性)
- ・原発事故以後、安心して自然とふれあえる機会がなくなりました。(20代・女性)

【住環境】

- ・最近、各公園の整備がされていて凄く嬉しく楽しみです。(30代・女性)
- ・公園の雑草がひどく全く遊べない。小さい公園の遊具が少ない。せめて夏前に手入れしてほしい。(30代・女性)
- ・駐車場がない為、公園が利用できない。(70歳以上・男性)
- ・市内全域の下水道整備を、早急に進めて頂きたい。(50代・女性)
- ・公共下水道への接続について、市から協力をお願いされていますが、工事料金が高すぎて困っています。(40代・女性)
- ・カラス対策をしてほしい。(40代・女性)

【分野V】 産業・観光・雇用

【農業】

- ・大規模農業者に補助金を出すだけでなく、小規模農業者であっても農地を維持するには変わらない。小規模農家にも補助金を。(60代・男性)
- ・農業の担い手の問題は郡山市以外の地域でも問題とされていますが、郡山には大学もあるので、学生を巻き込んで、何かイベント催しなどを企画し農業に目を向けられるように市役所で企画したらどうでしょうか？(40代・女性)
- ・農業の大切さを、若い世代に知ってもらう取り組みがあると良い。(30代・女性)
- ・ちょっと郊外に目をやると、休耕地が意外と多く見られます。なんとか、有効に使用できる対策をお願いしたいです。(60代・女性)
- ・郡山市は広いので、もっと特産物などがあっても良いのではないかと。(20代・女性)

【地域商工業】

- ・中小企業や商店街も地域密着型の振興活動をされていて、大変素晴らしいと思います。これからの活躍に期待しています。(50代・女性)
- ・老人の買物が不便な町になってしまった。地域商店街の復活が望ましい。(60代・男性)
- ・駅前の活気が年々下降してると感じる。駅前駐車場共通券(店舗共通無料)等、ショッピングしやすい環境づくりが必須と感じる。(50代・男性)

- ・昔の駅前には活気があり、土曜日、日曜日などは人がたくさんいました。今はあまり人もいなく、活気がありません。もっといろいろなイベントをして、駅前に人が集まれば、飲みに行ったりして、楽しくなると思う。(40代・男性)
- ・地域に密着した個人商店が、潰れないようにしてほしい。(男性・40代)
- ・イベントなどを充実させて、町の活性化をする。(40代・男性)
- ・大型店の出店を規制し、地元商店が生き残れるようにすべき。(60代・女性)

【ショッピング・レジャー】

- ・ショッピングセンターが多くとても便利に思う。(40代・女性)
- ・ショッピング、レジャー施設がとにかく少ない。県外から遊びに来た人が楽しめるところがない。(20代・女性)
- ・駅前のショッピングに関しては、まだ駐車場の問題などがあり、あまり利用できない。(30代・女性)
- ・他の都市のように郊外に大型ショッピングセンターをどんどん誘致してほしいです。(40代・女性)
- ・郊外型駐車場のある映画館ができると良いと思う。(40代・男性)

【産業創出】

- ・大企業の産業誘致に対する取り組みが見えない。郡山の立地が良いことをアピールし、企業側の条件を整えて誘致してほしい。(60代・男性)
- ・他の自治体とのサバイバルに勝てる郡山市、東北いや日本、世界で評価される郡山市、そのためには産総研、医療機器センター等を主に世界に発信できる、バイオ農業、医療工学、医療経済等を含めた教育の場を。(50代・男性)

【観光】

- ・JRと協議の上、中山宿のスイッチバックを復元。将来の観光客誘致が見込めると思うが。(70歳以上・男性)
- ・県外からの知人を観光に連れて行こうと考えると、会津やいわきになってしまう。郡山には何も無い。(40代・女性)
- ・湖南町はこれほどの猪苗代湖を持っていて、観光が遅れています。(60代・女性)
- ・コンベンションの誘致という面では、施設が整っていない。(30代・男性)

【6次産業化】

- ・安全に食べることの出来る物をもっと増やし、6次産業を活性化してほしい。(40代・女性)
- ・地元の学生が考えたパッケージやお菓子などを企業と共に作成し販売するのは、とても素晴らしい発想だと思うので、もっともっと広げていくと良いと思います。(50代・女性)
- ・ブランド化とは、どういう物なのかよく理解できない。ブランド化しなくとも良いものがあると思うが。(60代・男性)

【雇用促進】

- ・雇用の促進、雇用の安定、定着を関係各所と連携強化を。(70歳以上・男性)
- ・雇用は大切で、まず働かないと世の中は回らない。(70歳以上・女性)
- ・求人票を見ても40代以上の雇用が少ない。もう少し、若い方たち以外にも中年層の雇用も充実してほしい。(40代・男性)
- ・若者が就労できる企業が少なく、人口流出していると感じます。(40代・女性)

【分野Ⅵ】都市計画・交通・防災

【計画的なまちづくり】

- ・郡山が活気づく様なまちづくり。駅前開発など。スポーツにしてもプロを呼べる会場をつくるなど。開成山も駅から近い所にあり、便利なのにもったいないと思います。東口の開発もしてほしいです。もっと他県から人を呼べるようになれば、活気づくのではないのでしょうか？
(50代・女性)
- ・郡山駅東口の再開発、若い世代、子育て世代がイキイキと過ごせる政策を期待します。
(30代・男性)
- ・西部方面はどんどん開けていきますが東部方面のいくつかの方面は働き場所もなく、どんどん人口が減少してゆくのみ。悩みの種であります。男女共、定年後の人達の労力を活用していく様な工場や会社など、1つでいいからあったら地域活性化になると思います。(50代・男性)
- ・商業施設の充実を計り、街造りを活性化させ周辺都市から入口を引き込み人口を増加させる。
(40代・女性)
- ・中心街に活気がないので、子供たちは皆首都圏、仙台方面へ出ていってしまいます。もっと、若い人が住みたくなるような街づくりを希望します。(40代・男性)
- ・市中心部への市営住宅建設で、中心部の人口を増やす。(60代・女性)
- ・中心市街地ばかりでなく、田舎の町の発展も考えて欲しいです。(40代・女性)
- ・市としてのビジョンが明確になっていない。将来像を出すことが必要。目先の対応を求めている。(50代・男性)

【交通・道路】

- ・雪の日は、100円バスなどで交通渋滞を半減させる。(50代・男性)
- ・高齢化に伴い、路線バスの充実を願う。(70歳以上・男性)
- ・路線バスの不便な所には、コミュニティバスの活用をお願いしたい。(70歳以上・女性)
- ・車がなければ不便。(40代・女性)
- ・交通や道路は内環状も通り、格段に良くなってると思います。(40代・女性)
- ・道路も広くなり、道路沿いの草も刈っていただき、車に乗っていてもとても安心していられます。ありがとうございました。見晴らしが良くなりました。(60代・女性)
- ・市内主要幹線道の整備が不完全である。各道路の整備、維持、整理をもう少し行ってほしい。
(70歳以上・男性)
- ・道路は、穴が開いているところがある。特に歩道はデコボコしていたり、段差があったり歩きにくい(50代・女性)
- ・道路工事の頻度が多いように感じます。また、時間帯についても配慮があればよい。
(30代・男性)
- ・内環状線沿いにある街路樹が邪魔です。信号の目視確認の妨げになります。結論から言えば切ってほしい。(30代・男性)
- ・雪の日の除雪について、もう少し迅速な対応が必要だと思います。(30代・女性)
- ・駅前、さくら通り、環状線など主要道路の混雑を解消する方法はないのでしょうか。週末休日以外の日も多すぎ。(40代・女性)
- ・通学路には、ガードレール等安全対策を。(50代・男性)
- ・通学路に歩道が無く、小中学生の登下校の事故が心配。区画整理が行われているところは良いが、昔からの幹線道路については歩道がない状況である。早急に危険な箇所を調べ、安全対策を行ってほしい。(40代・男性)

- ・駅前ロータリーは工事したにも関わらず、一向に改善しない。そもそも、一般車とタクシーの入口が同じというのがナンセンスだと思う。(40代・女性)

【防災】

- ・防災マップなどの配布はありがたい。(30代・女性)
- ・防災マップは配布されていますが、地域での訓練などが全くなく、いざとなったら対処できるのか不安です。(40代・女性)
- ・災害で避難するときに計画が無い。歩くと20分もかかるので、避難しないことが多い。(70歳以上・女性)
- ・水害対策をお願いしたいです。雨が降ると心配になります。(60代・女性)
- ・年寄りの一人暮らしが増えれば、火災等も心配。(70歳以上・女性)
- ・原発事故以来空家が多くなり、火災の危険が多い。(60代・男性)
- ・防災無線が外で聞こえるが、外に出て聞こうとしてもハッキリ聞こえず、毎回何を言っているのか分からない。(70歳以上・女性)

【防犯・交通安全・消費者対策】

- ・まだまだ子どもの登下校に不安、心配を感じます。不審者の話も、たまに聞くので。(20代・女性)
- ・夜道に点灯する街灯がない。あっても薄暗い道がたくさんあります。(30代・女性)
- ・学校だけでは対応できない不審者等の対応。(40代・女性)
- ・通学路に不審者などの目撃があっても、なかなかパトロールが行き届いていない。地域のお年寄りなどで、登下校の時間などに見守り隊などで防犯に協力して欲しい。(20代・女性)
- ・郡山駅前アーケードの、夜の雰囲気が悪すぎる。客引きで溢れ返っていてイメージがとても悪い。改善策は思いつかないが、雰囲気が良くなればいいなといつも思っています。(30代・女性)
- ・道が狭いのに、ものすごいスピードで走る車がいっぱいいます。(30代・女性)
- ・車については、ウインカーをあげない車が多くなり運転マナーが低下しているので、改善してほしい。(40代・男性)
- ・私は他県から来た者ですが、自動車運転の交通ルールが徹底されていないと感じます。(30代・男性)
- ・見通しの悪い所へのカーブミラーの設置。(30代・女性)

【分野Ⅶ】原子力災害対策・復興

【除染】

- ・除染はよくしている。(30代・男性)
- ・除染は、もう大丈夫だと思う。(数値が同じなので)(40代・女性)
- ・除染は必要なのは分かっているが、キリがないし費用のムダなのではないかと思ってしまうこともある。(20代・女性)
- ・除染に関しては、いろいろな場所で除染作業をしているのを目にするが、震災・原発事故から5年半も過ぎて、本当に除染が今でも必要なのか、本当に効果があるのかに疑問があります。(50代・女性)
- ・除染は、一度だけで大丈夫なのか。心配。(20代・女性)
- ・震災後、真っ先に学校の除染に取り組んでくれたのが郡山市でした。道路の除染など、常に取り組んでいる様子に感謝していますが、公園がやはり線量の高いところが多く、不安が残ります。線量の高い所を部分的に効率よく除染してみてもいいかと思えます。(50代・女性)

- ・自宅の敷地内に、除染土が埋まっています。将来的にいつ運び出されるのか、先が見えず不安です。計画性を持って、見通せたらと思っています。(40代・女性)
- ・住宅除染は空間線量結果が届いたが、道路側溝については何も知らされていない。(60代・女性)

【健康管理】

- ・食べ物の検査は良いことだと思う。(20代・女性)
- ・将来の子どもを、しっかり健康管理して欲しいです。(60代・男性)
- ・健康な体の為、定期的検査必要。特に喉(甲状腺)。(70歳以上・男性)
- ・行政は徹底した食品等の計測を継続し、市民の健康を守って欲しい。(60代・男性)

【こども活動支援】

- ・外でものびのび遊べる、遊び場がほしい。(30代・女性)
- ・子どもたちが、のびのびと遊べるような室内施設を作ってほしい。子どもの体力低下が気になる。(20代・女性)
- ・子供たちが(特に小学生～)が自由に遊べる(屋内)施設が少ないがために、人が集中し混み合い、感染症にすぐになりやすい。(30代・女性)
- ・子どもが放課後、自由に出入りして遊べる場所づくり。(20代・女性)
- ・もっと、運動のできる施設の整備に力を入れても良いのではないのでしょうか。子供たちの運動不足の解消に力を入れて。(40代・女性)

【風評の払しょく】

- ・農産物すべてが、風評によって出足が伸び悩んでいます。(60代・男性)
- ・全検査してるといって送った食料品を食べない親戚が居るので、風評の払拭はなかなか難しいと思う。(70歳以上・女性)
- ・他県に行くと、まだ風評が残っていると感じられる。(60代・女性)
- ・県外からの見方(福島県のイメージ)は、県民・市民が考えている以上に厳しい。(50代・男性)
- ・残念な話ですが、どんなに内外に安全性のPR等行っても郡山市民からして、それを信用できない人が多くいます。それが現状です。(20代・女性)
- ・海外への風評の払拭がまだまだ完全ではなく、産業や国際交流に影響を与えているのは確かです。(50代・女性)
- ・いつまでも風評被害に乗っかりすぎ。(40代・女性)
- ・風評被害なのか被害なのかまだ分からない。風評を強調するのは、郡山、福島で不安を抱えて生活している方への配慮を欠くと考えます。(30代・男性)
- ・震災、原発事故から6年近く経過し、放射能に対する認識が少しずつ薄れてしまっているものの、風評被害や不安は根強く残って不安を感じる。一時的なものではなく、これから先何十年に渡り取り組んでいかななくてはならない課題である。(50代・女性)

(資料)

1 まちづくりについて【満足度】

(1) 満足度男女別・年代別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	全体	男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～										
I-2 広聴広報	69.6	1	64.2	2	64.7	3	53.8	16	65.9	2	63.8	3	64.4	3	62.7	1	64.3	2	67.6	1
II-14 音楽都市こおりやま	69.2	2	62.7	4	65.8	1	60.0	4	65.9	2	64.4	2	65.7	1	62.5	2	64.0	3	64.3	3
III-22 医療	66.9	3	65.2	1	65.2	2	56.3	9	68.3	1	66.9	1	64.5	2	62.5	2	65.2	1	66.4	2
VI-40 除染	65.4	4	60.5	5	61.7	5	56.3	9	65.0	5	61.6	5	62.3	5	59.9	5	61.7	6	58.5	12
III-21 健康づくり	64.5	5	59.5	7	62.9	4	55.0	13	63.8	6	60.9	8	62.1	6	57.8	10	60.9	7	64.1	4
IV-28 住環境	64.5	5	63.3	3	61.0	8	55.0	13	62.1	9	61.7	4	62.1	6	60.5	4	63.2	4	62.8	6
VI-41 健康管理	64.4	7	57.8	14	61.4	7	52.5	19	65.9	2	61.2	6	62.6	4	56.6	11	56.4	16	59.6	9
III-23 生活衛生	64.2	8	55.6	17	57.1	15	52.5	19	58.8	18	59.9	9	57.1	18	54.3	17	55.0	18	55.2	18
II-12 生涯学習	63.9	9	59.4	8	61.6	6	57.5	6	62.9	7	61.2	6	60.2	11	58.3	9	59.3	11	63.7	5
II-13 歴史・文化芸術	63.6	10	58.1	13	59.0	11	56.3	9	62.2	8	59.1	11	60.8	9	55.6	13	57.4	15	57.7	14
IV-27 自然環境	63.1	11	58.9	10	59.3	10	57.5	6	59.7	15	57.9	15	61.6	8	58.5	7	59.4	10	56.4	16
IV-26 ごみ対策	62.9	12	60.4	6	57.5	13	48.8	29	57.9	20	55.5	20	58.3	14	58.6	6	60.3	8	62.2	7
I-1 市民協働	62.3	13	50.8	30	48.5	32	46.3	32	47.4	41	52.5	28	50.5	36	45.5	34	49.7	29	51.7	22
II-9 乳幼児教育	62.0	14	53.5	19	54.9	22	45.0	34	54.7	28	58.7	12	56.7	20	51.7	21	51.4	21	52.0	21
II-10 学校教育	61.9	15	55.2	18	55.5	18	62.5	1	60.3	12	57.9	15	56.8	19	53.3	18	52.1	20	52.7	20
VI-38 防災	61.6	16	58.4	12	56.3	17	51.3	22	57.2	21	53.9	23	59.1	13	55.3	14	58.5	12	59.2	10
V-31 ショッピング・レジャー	60.9	17	59.0	9	60.6	9	43.8	35	58.6	19	59.2	10	59.7	12	58.5	7	62.8	5	59.2	10
III-19 高齢者福祉	60.5	18	53.5	19	55.0	21	50.0	25	56.6	23	52.7	27	53.7	28	51.6	23	55.2	17	57.3	15
III-17 子育て	60.4	19	52.3	26	54.8	23	55.0	13	53.1	30	58.2	13	58.3	14	49.9	27	51.1	23	51.1	25
VI-42 子ども活動支援	60.3	20	53.5	19	55.5	18	50.0	25	60.0	14	56.3	18	57.5	16	51.3	24	51.3	22	54.4	19
II-11 青少年の健全育成	60.2	21	53.1	22	55.1	20	60.0	4	61.0	11	56.2	19	56.7	20	52.0	20	50.3	26	51.0	27
II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1	22	56.9	15	57.4	14	52.5	19	59.7	15	57.4	17	57.4	17	55.3	14	57.5	14	56.2	17
VI-37 交通・道路	60.0	23	58.8	11	58.7	12	57.5	6	60.2	13	58.0	14	60.4	10	55.7	12	59.8	9	58.1	13
I-7 高度情報化	59.6	24	46.4	41	43.7	41	51.3	22	55.5	24	50.4	34	52.2	32	41.8	43	38.0	43	34.5	43
I-8 広域行政	59.4	25	50.3	31	44.4	39	61.3	3	50.9	34	49.1	36	48.5	40	43.1	39	43.7	41	36.3	42
IV-24 新エネルギー	59.4	25	45.8	43	47.7	34	42.5	38	47.4	41	48.3	39	53.2	29	47.2	33	48.7	31	47.4	33
VI-39 防犯・交通安全・消費者対策	59.3	27	56.8	16	56.4	16	51.3	22	55.3	25	53.6	24	56.6	22	55.1	16	58.4	13	59.9	8
I-3 ユニバーサルデザイン	59.1	28	52.3	26	52.3	27	53.8	16	57.2	21	52.4	29	55.9	24	49.1	29	50.6	25	51.2	24
I-4 男女共同参画	59.0	29	52.7	25	51.8	28	62.5	1	55.0	27	53.0	26	54.6	26	52.6	19	50.0	28	47.6	32
I-5 行政経営	58.8	30	52.9	23	49.9	30	42.5	38	55.3	25	51.8	30	51.6	33	50.0	26	50.1	27	51.1	25
VI-43 風評の払しょく	58.6	31	51.3	29	54.3	24	50.0	25	61.4	10	54.4	22	55.4	25	50.8	25	49.3	30	51.3	23
I-6 シティプロモーション	58.5	32	52.8	24	53.3	25	53.8	16	59.5	17	55.2	21	56.4	23	49.6	28	50.8	24	49.4	29
III-20 障がい者福祉	58.1	33	48.1	36	46.9	37	47.5	31	50.2	38	47.9	40	49.2	37	44.2	38	47.6	33	46.0	34
II-16 都市交流・国際交流	57.1	34	48.6	35	47.3	35	43.8	35	50.7	36	50.6	33	52.5	31	45.0	35	46.2	36	42.5	38
III-18 地域福祉	56.6	35	52.1	28	52.8	26	50.0	25	51.2	32	53.3	25	54.1	27	51.7	21	53.1	19	50.6	28
V-34 6次産業化	56.5	36	47.0	38	42.9	43	40.0	40	50.5	37	47.1	42	47.9	42	44.1	39	40.7	42	41.4	40
V-29 農業	56.3	37	46.8	39	47.2	36	46.3	32	52.1	31	48.8	38	50.9	35	44.5	36	44.1	38	43.2	36
IV-25 環境活動	55.9	38	46.7	40	44.8	38	38.8	42	49.7	39	45.6	43	47.8	43	43.1	39	45.3	37	43.3	35
V-32 産業創出	55.7	39	47.9	37	43.5	42	40.0	40	47.6	40	47.9	40	48.4	41	44.5	36	43.8	40	41.5	39
V-30 地域商工業	55.4	40	49.3	33	48.0	33	56.3	9	50.9	34	51.2	31	52.7	30	47.3	32	46.9	35	43.1	37
V-33 観光	54.8	41	48.7	34	48.7	31	48.8	29	51.0	33	49.9	35	48.8	38	48.0	31	47.6	33	48.0	31
VI-36 計画的なまちづくり	53.9	42	49.7	32	50.1	29	43.8	35	54.3	29	51.0	32	51.4	34	48.4	30	48.1	32	48.5	30
V-35 雇用促進	52.0	43	45.9	42	44.3	40	36.3	43	46.2	43	49.1	36	48.7	39	42.7	42	43.9	39	40.3	41

(2) 満足度地域別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	全体	旧郡山東部	旧郡山西部	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬								
I-2 広聴広報	69.6	1	68.8	1	62.8	4	66.9	1	59.2	12	66.4	3	65.6	5	67.8	1
II-14 音楽都市こおりやま	69.2	2	66.5	3	64.0	2	65.2	4	68.6	1	67.6	2	60.0	10	67.0	2
III-22 医療	66.9	3	67.4	2	65.2	1	66.0	2	66.1	2	68.6	1	70.0	1	64.3	3
VII-40 除染	65.4	4	59.1	10	60.4	6	63.6	5	61.9	6	63.0	7	70.0	1	63.5	4
III-21 健康づくり	64.5	5	62.1	6	60.9	5	61.9	9	61.9	6	64.9	4	65.6	5	62.6	5
IV-28 住環境	64.5	5	63.9	4	64.0	2	61.0	10	64.0	3	64.5	5	62.2	8	60.9	7
VII-41 健康管理	64.4	7	58.6	13	60.2	8	62.4	7	58.1	14	60.2	15	66.7	4	59.1	10
III-23 生活衛生	64.2	8	57.9	15	56.1	16	53.1	20	57.3	16	58.8	17	56.7	20	61.7	6
II-12 生涯学習	63.9	9	63.5	5	59.7	9	62.1	8	64.0	3	62.2	9	60.0	10	60.0	9
II-13 歴史・文化芸術	63.6	10	61.2	7	57.7	13	56.0	17	62.5	5	61.8	10	63.3	7	59.1	10
IV-27 自然環境	63.1	11	59.6	9	60.3	7	56.2	15	58.7	13	60.8	13	58.9	15	60.9	7
IV-26 ごみ対策	62.9	12	60.0	8	59.1	11	58.1	11	57.3	16	63.4	6	57.8	18	55.7	18
I-1 市民協働	62.3	13	55.9	22	48.0	34	42.9	36	47.0	36	55.3	26	48.9	36	50.4	25
II-9 乳幼児教育	62.0	14	55.8	23	53.2	22	51.2	23	56.0	21	57.1	20	52.2	32	54.8	21
II-10 学校教育	61.9	15	57.7	16	56.1	16	52.9	21	57.0	19	57.3	19	56.7	20	57.4	16
VI-38 防災	61.6	16	56.8	19	57.1	14	58.1	11	60.0	11	61.2	11	55.6	24	55.7	18
V-31 ショッピング・レジャー	60.9	17	57.7	16	58.9	12	63.1	6	60.8	9	61.0	12	66.7	3	55.7	18
III-19 高齢者福祉	60.5	18	55.0	25	54.3	19	49.5	28	56.0	21	57.8	18	58.9	15	57.4	16
III-17 子育て	60.4	19	58.1	14	52.5	25	53.6	19	57.1	18	56.8	22	44.4	41	48.7	32
VII-42 子ども活動支援	60.3	20	56.3	20	52.8	23	57.4	13	53.3	27	57.0	21	58.9	15	51.3	23
II-11 青少年の健全育成	60.2	21	55.2	24	54.0	20	50.7	24	57.0	19	54.5	28	55.6	24	59.1	10
II-15 スポーツ・レクリエーション	60.1	22	59.1	10	56.1	16	56.2	15	61.9	6	59.2	16	61.1	9	59.1	10
VI-37 交通・道路	60.0	23	58.9	12	59.4	10	66.0	2	60.8	9	62.7	8	56.7	20	50.4	25
I-7 高度情報化	59.6	24	50.3	34	45.9	38	38.6	43	43.0	43	49.9	41	50.0	35	41.7	41
I-8 広域行政	59.4	25	51.0	33	44.2	43	42.4	37	45.0	41	46.6	43	42.2	42	41.7	41
IV-24 新エネルギー	59.4	25	52.0	31	47.6	35	47.4	32	49.1	32	54.8	27	54.4	28	41.7	41
VI-39 防犯・交通安全・消費者対策	59.3	27	57.3	18	56.9	15	57.1	14	57.9	15	60.3	14	57.8	18	50.4	25
I-3 ユニバーサルデザイン	59.1	28	53.8	29	52.3	26	50.7	24	53.9	25	56.5	23	46.7	37	50.4	25
I-4 男女共同参画	59.0	29	54.3	28	51.0	28	49.5	28	53.0	28	54.3	29	56.7	20	59.1	10
I-5 行政経営	58.8	30	55.0	25	50.7	29	47.9	31	52.0	29	52.8	32	60.0	10	53.0	22
VII-43 風評の払しょく	58.6	31	52.7	30	52.7	24	54.0	18	53.9	25	56.1	24	60.0	10	58.3	15
I-6 シティプロモーション	58.5	32	56.3	20	53.3	21	50.2	26	55.6	23	56.0	25	51.1	34	50.4	25
III-20 障がい者福祉	58.1	33	46.5	42	47.3	36	40.5	39	49.1	32	51.1	36	60.0	10	49.6	30
II-16 都市交流・国際交流	57.1	34	49.7	35	48.8	32	40.5	39	48.2	34	52.8	32	55.6	24	46.1	36
III-18 地域福祉	56.6	35	55.0	25	51.5	27	51.9	22	55.0	24	53.4	31	55.6	24	47.8	34
V-34 6次産業化	56.5	36	47.1	41	45.7	39	40.0	42	46.3	39	50.3	39	45.6	40	43.5	39
V-29 農業	56.3	37	48.8	37	46.7	37	47.4	32	46.9	37	49.1	42	53.3	30	47.8	34
IV-25 環境活動	55.9	38	48.0	39	45.5	41	45.0	35	46.7	38	51.8	35	46.7	38	42.6	40
V-32 産業創出	55.7	39	48.0	39	45.6	40	40.5	39	44.2	42	51.1	36	46.7	38	45.2	37
V-30 地域商工業	55.4	40	48.8	37	49.0	30	46.0	34	49.7	31	51.9	34	52.2	32	48.7	32
V-33 観光	54.8	41	49.4	36	48.5	33	48.8	30	47.8	35	50.1	40	54.4	28	44.3	38
VI-36 計画的なまちづくり	53.9	42	51.2	32	49.0	30	50.2	26	51.0	30	53.6	30	53.3	30	51.3	23
V-35 雇用促進	52.0	43	45.0	43	44.4	42	42.1	38	45.9	40	51.1	36	38.9	43	49.6	30

(2) 満足度地域別回答状況

(左側：点数/右側：順位)

項目	片平	喜久田	日和田	富久山	湖南	熱海	田村	西田	中田									
I-2	69.0	1	63.1	2	67.6	3	64.4	1	71.7	1	64.6	2	60.8	7	67.1	2	69.4	1
II-14	49.0	14	62.5	3	66.5	5	61.5	2	55.0	18	60.0	3	61.1	5	65.9	4	58.8	7
III-22	51.0	9	61.9	4	69.2	1	61.1	3	70.0	2	52.3	13	65.7	1	64.7	6	62.4	4
VII-40	58.0	2	60.0	7	69.2	1	60.8	4	55.0	18	46.2	23	64.2	2	62.4	10	54.1	17
III-21	53.0	6	54.4	12	64.9	7	57.1	9	63.3	7	55.4	7	63.8	3	68.2	1	56.5	13
IV-28	55.0	4	60.6	6	62.7	10	58.7	6	61.7	10	53.8	9	56.2	15	56.5	24	51.8	21
VII-41	52.0	8	63.8	1	63.8	8	58.7	6	50.0	30	47.7	20	60.8	8	60.0	18	58.8	7
III-23	43.0	26	59.4	8	65.4	6	54.3	15	56.7	13	46.2	23	59.2	12	64.7	6	47.1	27
II-12	53.0	6	53.8	13	61.6	12	55.4	13	63.3	7	69.2	1	63.0	4	61.2	13	63.5	3
II-13	55.0	4	53.8	13	59.5	15	53.7	19	56.7	13	44.6	26	57.0	13	67.1	2	68.2	2
IV-27	44.0	25	59.4	8	63.2	9	57.1	9	51.7	28	58.5	5	60.4	9	62.4	10	51.8	21
IV-26	50.0	11	53.1	18	59.5	15	56.0	11	61.7	10	49.2	17	61.1	5	61.2	13	56.5	13
I-1	38.0	32	50.0	27	59.5	15	49.9	26	55.0	18	40.0	30	49.1	31	50.6	32	47.1	27
II-9	47.0	18	48.8	28	56.2	19	54.1	17	68.3	4	49.2	17	55.8	16	57.6	23	54.1	17
II-10	50.0	11	51.3	24	54.6	28	51.2	22	66.7	5	43.1	27	54.0	20	55.3	25	51.8	21
VI-38	49.0	14	53.8	13	62.2	11	55.6	12	53.3	23	36.9	34	57.0	13	50.6	32	57.6	10
V-31	50.0	11	61.3	5	67.0	4	59.8	5	56.7	13	53.8	9	59.6	11	65.9	4	60.0	6
III-19	41.0	29	47.5	32	61.1	13	49.3	28	70.0	2	53.8	9	52.5	22	64.7	6	56.5	13
III-17	46.0	21	56.3	10	52.4	33	48.8	29	56.7	13	46.2	23	55.5	17	55.3	25	55.3	16
VII-42	57.0	3	53.1	18	54.6	28	54.3	15	45.0	39	47.7	20	60.0	10	61.2	13	52.9	20
II-11	48.0	16	52.5	21	56.2	19	50.5	23	63.3	7	53.8	9	52.1	24	58.8	22	57.6	10
II-15	46.0	21	55.0	11	57.8	18	54.1	17	56.7	13	55.4	7	54.7	18	62.4	10	58.8	7
VI-37	47.0	18	53.1	18	55.1	24	57.9	8	51.7	28	47.7	20	52.5	22	60.0	18	49.4	25
I-7	33.0	38	42.5	40	49.7	39	40.8	43	33.3	43	30.8	40	42.6	41	48.2	36	47.1	27
I-8	37.0	34	48.1	31	48.1	40	42.3	41	53.3	23	40.0	30	46.4	36	48.2	36	44.7	34
IV-24	32.0	39	46.3	35	51.9	35	50.3	25	48.3	34	38.5	33	50.2	27	49.4	34	30.6	43
VI-39	48.0	16	51.3	24	56.2	19	54.9	14	48.3	34	52.3	13	52.1	24	61.2	13	61.2	5
I-3	42.0	27	46.3	35	54.1	31	48.8	29	66.7	5	56.9	6	50.9	26	60.0	18	54.1	17
I-4	39.0	31	48.8	28	61.1	13	51.8	21	55.0	18	60.0	3	49.1	31	51.8	31	51.8	21
I-5	42.0	27	51.9	23	55.7	23	47.4	35	55.0	18	49.2	17	53.6	21	49.4	34	49.4	25
VII-43	51.0	9	52.5	21	54.6	28	52.2	20	41.7	40	43.1	27	54.7	18	40.0	42	47.1	27
I-6	45.0	24	53.8	13	55.1	24	47.8	34	60.0	12	50.8	16	50.2	27	61.2	13	47.1	27
III-20	37.0	34	43.1	39	55.1	24	44.8	38	50.0	30	40.0	30	48.3	33	64.7	6	35.3	41
II-16	34.0	36	41.3	42	50.8	37	45.9	37	48.3	34	36.9	34	47.2	34	54.1	28	47.1	27
III-18	47.0	18	53.8	13	55.1	24	50.5	23	53.3	23	52.3	13	49.4	29	60.0	18	57.6	10
V-34	29.0	42	44.4	37	45.9	43	41.5	42	41.7	40	33.8	36	42.6	41	36.5	43	38.8	39
V-29	41.0	29	46.9	34	46.5	42	44.2	39	53.3	23	32.3	37	46.4	36	54.1	28	42.4	35
IV-25	32.0	39	40.6	43	47.0	41	43.8	40	46.7	38	24.6	42	46.0	38	43.5	40	34.1	42
V-32	32.0	39	41.9	41	50.8	37	46.1	36	50.0	30	20.0	43	44.2	40	45.9	39	40.0	37
V-30	38.0	32	47.5	32	52.4	33	48.2	32	50.0	30	32.3	37	46.8	35	55.3	25	40.0	37
V-33	34.0	36	50.6	26	51.4	36	48.8	31	48.3	34	43.1	27	49.4	29	47.1	38	47.1	27
VI-36	46.0	21	48.8	28	56.2	19	49.7	27	53.3	23	26.2	41	45.7	39	52.9	30	41.2	36
V-35	25.0	43	43.8	38	53.0	32	48.2	32	40.0	42	32.3	37	41.5	43	42.4	41	38.8	39

～市民の皆さまのご意見から～

郡山市は、他県出身者の私にとっては住みやすい街ですし、震災後も帰ってくる事に（多少の子供への不安はありましたが）迷いはありませんでした。

それは、子育てするのに不安がなく、こども館の方たちなど、いつも温かく対応していただけるからです。

最近、公園の整備なども進み、とても楽しみにしています。広報なども、私自身もっともっと活用したいと思います。

大変なお仕事ではありますが、子どもたちの未来のため、郡山の未来のために、これからも頑張ってください。いつもありがとうございます。（30代・女性）

立地が良く、大変住みやすい都市です。文化面にも優れて、音楽都市として全国的にも認識されています。

子どももこの地で成長しました。原発事故以降、多くの課題が増えましたが、市民が一丸となり問題解決に取り組んで行かなければいけないと思います。

県外から転居してきて、郡山の方々の温厚で忍耐強く、まじめな人柄を感じ、今後も生涯この地に住んでいきたいと思っています。私も郡山市民として、これからも頑張っていきます。（50代・女性）

郡山市に嫁いで50年になります。3人の子供も産み育てました。私の大好きな郡山市です。皆で協力しあい住み良い郡山市、益々発展する事を祈念申し上げます。郡山市に住まわせてもらっている事に感謝です。ありがとうございます。（60代・女性）

子どもたちが「将来郡山に住みたい」と考える市になるのが理想です。東京や他の地域の学校や職場へ行っても、最終的には郡山へ戻りたいと思ってもらえると思います。

私も職場へ希望を出して、郡山に戻った一人です。実家があること以外にも魅力があったのです。がんばってください。（50代・男性）

2 これからのまちづくりについて【重要度】

(1) 重要度男女別・年代別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	全体	男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳～										
Ⅲ-19 高齢者福祉	34.3	1	34.7	1	34.3	1	18.8	8	15.5	9	17.4	8	36.9	1	40.6	1	44.7	1	42.0	1
Ⅱ-10 学校教育	29.4	2	27.8	2	30.8	3	25.0	5	30.2	4	36.0	2	36.9	1	26.2	3	21.7	4	29.3	2
Ⅲ-17 子育て	29.3	3	27.6	3	31.3	2	31.3	2	31.9	3	47.8	1	32.0	3	26.2	3	25.3	2	14.6	6
Ⅲ-22 医療	23.6	4	21.3	4	25.7	4	12.5	14	19.0	5	24.2	4	30.0	4	27.7	2	23.3	2	15.3	5
V-35 雇用促進	20.7	5	20.5	5	21.2	6	6.3	23	34.5	1	17.4	8	19.7	6	23.3	5	21.7	4	13.4	10
V-32 産業創出	19.7	6	17.4	7	22.1	5	43.8	1	34.5	1	35.4	3	22.2	5	16.3	8	7.9	25	9.6	22
Ⅵ-36 計画的なまちづくり	16.4	7	18.5	6	15.1	7	31.3	2	14.7	10	16.3	11	15.3	9	19.3	6	17.0	6	12.7	12
Ⅵ-37 交通・道路	16.3	8	17.4	7	15.1	7	18.8	8	13.8	11	16.9	10	19.7	6	17.8	7	15.8	7	12.1	15
Ⅵ-39 防犯・交通安全・消費者対策	13.6	9	13.2	10	13.9	10	12.5	14	12.1	16	15.7	12	12.8	11	13.4	11	13.8	11	14.0	7
Ⅶ-41 健康管理	12.4	10	13.4	9	15.1	7	6.3	23	17.2	6	19.7	6	16.3	8	9.9	21	14.6	9	10.8	17
V-33 観光	12.3	11	8.9	23	11.9	14	6.3	23	11.2	18	11.2	14	13.8	10	9.9	21	10.3	18	5.7	33
Ⅱ-11 青少年の健全育成	11.9	12	12.0	13	11.8	14	12.5	14	7.8	24	9.6	17	10.3	16	7.4	26	15.4	8	19.7	3
Ⅳ-26 ごみ対策	11.9	12	9.5	18	13.9	10	6.3	23	8.6	22	9.6	17	8.4	22	12.9	14	14.2	10	17.8	4
Ⅳ-24 新エネルギー	11.7	14	13.0	11	10.4	19	18.8	8	7.8	24	6.7	24	12.8	11	13.9	10	13.4	13	12.7	12
Ⅶ-42 子ども活動支援	11.0	15	8.9	23	13.3	13	25.0	5	10.3	19	23.0	5	8.9	20	5.9	34	10.3	18	7.6	29
Ⅲ-18 地域福祉	10.9	16	10.8	15	10.9	17	12.5	14	7.8	24	7.9	22	8.9	20	13.4	11	11.9	16	14.0	7
Ⅶ-43 風評の払しょく	10.9	16	12.2	12	10.0	22	12.5	14	12.1	16	6.2	26	10.3	16	12.4	16	13.8	11	9.6	22
Ⅵ-38 防災	10.8	18	10.5	16	11.3	16	6.3	23	16.4	7	11.2	14	11.3	13	13.4	11	8.3	22	7.0	30
Ⅱ-9 乳幼児教育	10.6	19	7.5	28	13.6	12	18.8	8	16.4	7	19.1	7	10.3	16	6.9	30	7.9	25	5.7	33
Ⅳ-28 住環境	10.3	20	11.8	14	9.3	24	0.0	33	13.8	11	9.6	17	7.9	24	14.9	9	9.9	20	8.3	27
Ⅲ-20 障がい者福祉	10.1	21	8.9	23	10.9	17	12.5	14	6.0	30	5.6	27	10.8	14	11.4	17	11.9	16	12.7	12
Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	9.8	22	9.3	20	10.3	21	31.3	2	12.9	13	8.4	21	8.4	22	12.9	14	7.1	30	9.6	22
V-29 農業	9.8	22	9.1	21	10.4	19	6.3	23	1.7	42	10.7	16	7.9	24	8.4	24	13.4	13	14.0	7
Ⅶ-40 除染	9.3	24	9.1	21	9.6	23	0.0	33	7.8	24	9.0	20	10.8	14	10.4	18	9.1	21	8.9	25
Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.7	25	9.5	18	8.0	27	18.8	8	12.9	13	15.7	12	7.4	27	6.4	32	8.3	22	2.5	41
Ⅳ-27 自然環境	8.7	25	8.3	26	9.1	25	0.0	33	6.9	29	5.1	31	9.4	19	10.4	18	8.3	22	13.4	10
Ⅲ-21 健康づくり	7.9	27	6.9	33	8.8	26	25.0	5	6.0	30	5.1	31	5.9	32	5.9	34	12.6	15	8.3	27
V-31 ショッピング・レジャー	7.9	27	10.1	17	6.5	29	0.0	33	8.6	22	7.9	22	6.4	29	10.4	18	5.5	32	10.8	17
I-5 行政経営	7.0	29	8.3	26	6.0	32	6.3	23	4.3	38	3.4	39	7.9	24	8.4	24	7.9	25	8.9	25
V-30 地域商工業	6.7	30	7.1	29	6.1	31	0.0	33	5.2	35	5.1	31	7.4	27	9.9	21	7.1	30	4.5	39
Ⅱ-12 生涯学習	6.6	31	6.7	34	6.6	28	0.0	33	9.5	20	5.6	27	4.4	37	7.4	26	7.5	28	7.0	30
I-1 市民協働	6.4	32	7.3	29	5.8	33	18.8	8	3.4	41	2.2	41	3.9	39	7.4	26	7.5	28	12.1	15
I-4 男女共同参画	6.3	33	5.9	37	6.5	29	12.5	14	12.9	13	3.9	37	4.9	34	4.5	38	4.3	34	10.8	17
I-6 シティプロモーション	5.8	34	6.5	36	5.5	35	12.5	14	9.5	20	6.7	24	6.4	29	6.9	30	2.8	40	3.8	40
Ⅱ-13 歴史・文化芸術	5.6	35	5.7	38	5.6	34	6.3	23	4.3	38	5.6	27	4.9	34	6.4	32	5.5	32	7.0	30
I-8 広域行政	5.6	36	7.3	29	4.3	36	0.0	33	4.3	38	5.6	27	2.5	42	7.4	26	4.3	34	10.2	21
I-2 広聴広報	5.2	37	7.3	29	3.5	40	0.0	33	6.0	30	3.4	39	4.9	34	4.0	41	4.3	34	10.8	17
I-7 高度情報化	5.1	38	6.7	34	4.0	39	0.0	33	6.0	30	5.1	31	5.4	33	5.9	34	4.0	38	5.7	33
Ⅳ-25 環境活動	4.9	39	5.7	38	4.3	38	0.0	33	5.2	35	4.5	35	6.4	29	4.5	38	4.3	34	5.1	37
I-3 ユニバーサルデザイン	4.3	40	4.5	41	4.3	36	12.5	14	6.0	30	3.9	37	3.9	39	4.5	38	2.8	40	5.7	33
V-34 6次産業化	3.8	41	4.9	40	3.0	41	6.3	23	7.8	24	4.5	35	4.4	37	5.0	37	1.6	43	1.3	42
Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.6	42	4.3	42	3.0	41	6.3	23	5.2	35	2.2	41	3.9	39	2.0	42	3.6	39	5.1	37
Ⅲ-23 生活衛生	1.5	43	2.4	43	0.7	43	0.0	33	0.0	43	0.6	43	1.5	43	2.0	42	2.8	40	1.3	42

(2) 重要度地域別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	全体	旧郡山東部	旧郡山西部	富田	大槻	安積	三穂田	逢瀬								
Ⅲ-19 高齢者福祉	34.3	1	24.8	3	31.4	1	32.0	1	33.3	1	39.0	3	44.4	1	47.8	1
Ⅱ-10 学校教育	29.4	2	29.2	2	23.4	4	27.0	3	30.5	2	46.0	1	44.4	1	43.5	2
Ⅲ-17 子育て	29.3	3	32.7	1	27.5	2	28.0	2	28.6	3	45.0	2	16.7	7	8.7	18
Ⅲ-22 医療	23.6	4	14.2	12	24.2	3	19.0	4	23.8	5	32.0	4	5.6	23	17.4	6
V-35 雇用促進	20.7	5	21.2	5	21.2	5	17.0	6	26.7	4	31.0	5	16.7	7	21.7	3
V-32 産業創出	19.7	6	23.9	4	21.2	5	19.0	4	21.9	6	19.0	9	5.6	23	21.7	3
Ⅵ-36 計画的なまちづくり	16.4	7	17.7	6	16.8	7	15.0	7	16.2	9	24.0	6	16.7	7	17.4	6
Ⅵ-37 交通・道路	16.3	8	17.7	6	15.2	9	8.0	22	16.2	9	20.0	7	16.7	7	13.0	12
Ⅵ-39 防犯・交通安全・消費者対策	13.6	9	9.7	21	16.3	8	13.0	8	16.2	9	13.0	14	11.1	15	4.3	30
Ⅶ-41 健康管理	12.4	10	15.0	10	14.0	10	13.0	8	12.4	15	12.0	18	5.6	23	17.4	6
V-33 観光	12.3	11	15.0	10	11.8	15	11.0	11	12.4	15	11.0	21	5.6	23	0.0	40
Ⅱ-11 青少年の健全育成	11.9	12	10.6	17	10.2	23	9.0	16	21.0	7	12.0	18	0.0	35	17.4	6
Ⅳ-26 ごみ対策	11.9	12	11.5	15	12.7	12	6.0	28	14.3	12	14.0	11	16.7	7	13.0	12
Ⅳ-24 新エネルギー	11.7	14	8.8	23	9.9	24	7.0	25	19.0	8	13.0	14	22.2	4	8.7	18
Ⅶ-42 子ども活動支援	11.0	15	10.6	17	10.7	20	10.0	13	13.3	13	15.0	11	22.2	4	4.3	30
Ⅲ-18 地域福祉	10.9	16	15.9	8	11.8	15	7.0	25	9.5	18	10.0	25	22.2	4	8.7	18
Ⅶ-43 風評の払しょく	10.9	16	13.3	14	11.3	18	9.0	16	9.5	18	14.0	11	5.6	23	8.7	28
Ⅵ-38 防災	10.8	18	15.9	8	11.8	15	9.0	16	6.7	25	17.0	10	11.1	15	4.3	30
Ⅱ-9 乳幼児教育	10.6	19	14.2	12	7.2	29	13.0	8	9.5	18	13.0	14	5.6	23	8.7	18
Ⅳ-28 住環境	10.3	20	6.2	33	12.4	13	10.0	13	6.7	25	20.0	7	5.6	23	4.3	30
Ⅲ-20 障がい者福祉	10.1	21	8.0	27	12.1	14	9.0	16	8.6	22	11.0	21	16.7	7	17.4	6
Ⅱ-14 音楽都市こおりやま	9.8	22	10.6	17	12.9	11	9.0	16	5.7	29	7.0	30	11.1	15	0.0	40
V-29 農業	9.8	22	7.1	29	7.7	27	4.0	37	13.3	13	8.0	29	38.9	3	21.7	3
Ⅶ-40 除染	9.3	24	9.7	21	11.3	18	8.0	22	9.5	18	12.0	18	11.1	15	8.7	28
Ⅱ-15 スポーツ・レクリエーション	8.7	25	7.1	29	10.5	21	11.0	11	11.4	17	2.0	43	5.6	23	8.7	18
Ⅳ-27 自然環境	8.7	25	11.5	15	7.2	29	10.0	13	5.7	29	6.0	31	16.7	7	13.0	12
Ⅲ-21 健康づくり	7.9	27	6.2	33	8.5	26	5.0	31	6.7	25	11.0	21	5.6	23	17.4	6
V-31 ショッピング・レジャー	7.9	27	10.6	17	10.5	21	6.0	28	8.6	22	5.0	35	11.1	15	8.7	18
I-5 行政経営	7.0	29	8.0	27	7.7	27	8.0	22	5.7	29	11.0	21	0.0	35	4.3	30
V-30 地域商工業	6.7	30	7.1	29	9.1	25	5.0	31	6.7	25	4.0	38	5.6	23	4.3	30
Ⅱ-12 生涯学習	6.6	31	8.8	23	7.2	29	5.0	31	4.8	35	5.0	35	5.6	23	13.0	12
I-1 市民協働	6.4	32	3.5	39	5.2	38	6.0	28	5.7	29	9.0	28	11.1	15	4.3	30
I-4 男女共同参画	6.3	33	5.3	36	6.3	32	5.0	31	7.6	24	13.0	14	0.0	35	13.0	12
I-6 シティプロモーション	5.8	34	8.8	23	5.8	34	7.0	25	2.9	37	6.0	31	0.0	35	8.7	18
Ⅱ-13 歴史・文化芸術	5.6	35	7.1	29	5.8	34	3.0	38	1.9	40	6.0	31	11.1	15	4.3	30
I-8 広域行政	5.6	36	1.8	41	6.1	33	2.0	39	3.8	36	10.0	25	11.1	15	4.3	30
I-2 広聴広報	5.2	37	6.2	33	5.5	36	5.0	31	2.9	37	5.0	35	0.0	35	8.7	18
I-7 高度情報化	5.1	38	4.4	37	3.9	39	9.0	16	2.9	37	10.0	25	0.0	35	0.0	40
Ⅳ-25 環境活動	4.9	39	8.8	23	3.9	39	5.0	31	1.9	40	6.0	31	16.7	7	8.7	18
I-3 ユニバーサルデザイン	4.3	40	4.4	37	5.5	36	2.0	39	1.9	40	3.0	41	0.0	35	13.0	12
V-34 6次産業化	3.8	41	0.9	42	3.9	39	2.0	39	5.7	29	4.0	38	0.0	35	4.3	30
Ⅱ-16 都市交流・国際交流	3.6	42	2.7	40	3.6	42	0.0	43	5.7	29	4.0	38	5.6	23	8.7	18
Ⅲ-23 生活衛生	1.5	43	0.0	43	1.4	43	1.0	42	1.0	43	3.0	41	0.0	35	0.0	40

(2) 重要度地域別回答状況

(左側：回答率/右側：順位)

項目	片平	喜久田	日和田	富久山	湖南	熱海	田村	西田	中田									
Ⅲ-19	35.0	1	37.5	2	35.1	1	40.0	1	25.0	1	53.8	1	50.9	1	35.3	2	41.2	2
Ⅱ-10	25.0	6	34.4	3	21.6	4	33.7	2	25.0	1	23.1	8	45.3	2	5.9	19	23.5	5
Ⅲ-17	15.0	11	43.8	1	29.7	2	29.5	4	25.0	1	23.1	8	26.4	3	41.2	1	23.5	5
Ⅲ-22	30.0	3	28.1	4	27.0	3	31.6	3	25.0	1	38.5	3	20.8	5	17.6	5	23.5	5
V-35	20.0	8	15.6	8	5.4	32	20.0	5	25.0	1	7.7	14	15.1	8	17.6	5	17.6	9
V-32	30.0	3	21.9	5	13.5	10	20.0	5	8.3	18	0.0	26	18.9	7	11.8	11	5.9	26
Ⅵ-36	35.0	1	9.4	16	10.8	18	16.8	8	16.7	6	0.0	26	9.4	20	11.8	11	17.6	9
Ⅵ-37	15.0	11	18.8	6	18.9	5	16.8	8	16.7	6	15.4	10	26.4	3	11.8	11	29.4	3
Ⅵ-39	30.0	3	12.5	12	8.1	24	8.4	22	0.0	32	0.0	26	20.8	5	29.4	3	0.0	37
Ⅶ-41	10.0	14	18.8	6	16.2	6	12.6	11	16.7	6	30.8	5	11.3	12	11.8	11	11.8	14
V-33	5.0	25	15.6	8	13.5	10	11.6	16	8.3	18	0.0	26	11.3	12	5.9	19	11.8	14
Ⅱ-11	20.0	8	12.5	12	13.5	10	12.6	11	0.0	32	7.7	14	11.3	12	23.5	4	11.8	14
Ⅳ-26	10.0	14	9.4	16	13.5	10	12.6	11	8.3	18	7.7	14	13.2	9	11.8	11	11.8	14
Ⅳ-24	25.0	6	3.1	34	13.5	10	15.8	10	8.3	18	30.8	5	5.7	27	11.8	11	17.6	9
Ⅶ-42	10.0	14	3.1	34	8.1	24	17.9	7	0.0	32	0.0	26	7.5	24	5.9	19	5.9	26
Ⅲ-18	5.0	25	9.4	16	5.4	32	9.5	19	16.7	6	7.7	14	5.7	27	17.6	5	17.6	9
Ⅶ-43	5.0	25	6.3	23	10.8	18	9.5	19	16.7	6	30.8	5	11.3	12	0.0	33	11.8	14
Ⅵ-38	10.0	14	6.3	23	2.7	40	9.5	19	8.3	18	7.7	14	11.3	12	5.9	19	5.9	26
Ⅱ-9	5.0	25	15.6	8	10.8	18	12.6	11	8.3	18	38.5	3	13.2	9	5.9	19	17.6	8
Ⅳ-28	10.0	14	9.4	16	8.1	24	10.5	18	0.0	32	7.7	14	11.3	12	0.0	33	0.0	37
Ⅲ-20	5.0	25	12.5	12	10.8	18	7.4	27	16.7	6	0.0	26	5.7	27	5.9	19	47.1	1
Ⅱ-14	15.0	11	0.0	39	13.5	10	12.6	11	8.3	18	7.7	14	3.8	36	17.6	5	5.9	26
V-29	10.0	14	15.6	8	16.2	6	7.4	27	16.7	6	46.2	2	9.4	20	5.9	19	17.6	9
Ⅶ-40	0.0	39	3.1	34	5.4	32	7.4	27	8.3	18	15.4	10	5.7	27	11.8	11	0.0	37
Ⅱ-15	10.0	14	12.5	12	8.1	24	11.6	16	0.0	32	15.4	10	5.7	27	0.0	33	5.9	26
Ⅳ-27	0.0	39	9.4	16	16.2	6	8.4	22	8.3	18	15.4	10	13.2	9	17.6	5	5.9	26
Ⅲ-21	5.0	25	9.4	16	8.1	24	8.4	22	0.0	32	0.0	26	9.4	20	5.9	19	11.8	14
V-31	10.0	14	3.1	34	13.5	10	2.1	39	0.0	32	0.0	26	3.8	36	11.8	11	11.8	14
I-5	5.0	25	0.0	39	5.4	32	6.3	31	8.3	18	0.0	26	7.5	24	5.9	19	5.9	26
V-30	5.0	25	6.3	23	10.8	18	3.2	38	8.3	18	7.7	14	3.8	36	5.9	19	11.8	14
Ⅱ-12	5.0	25	9.4	16	16.2	6	4.2	36	0.0	32	7.7	14	5.7	27	0.0	33	11.8	14
I-1	10.0	14	6.3	23	5.4	32	7.4	27	16.7	6	7.7	14	7.5	24	17.6	5	11.8	14
I-4	0.0	39	6.3	23	8.1	24	2.1	39	16.7	6	7.7	14	1.9	41	0.0	33	5.9	26
I-6	10.0	14	6.3	23	5.4	32	4.2	36	0.0	32	0.0	26	11.3	12	0.0	33	5.9	26
Ⅱ-13	20.0	8	6.3	23	10.8	18	6.3	31	8.3	18	7.7	14	0.0	42	0.0	33	11.8	14
I-8	5.0	25	6.3	23	2.7	40	5.3	34	16.7	6	0.0	26	11.3	12	5.9	19	11.8	14
I-2	5.0	25	3.1	34	2.7	40	8.4	22	16.7	6	0.0	26	5.7	27	5.9	19	0.0	37
I-7	10.0	14	0.0	39	8.1	24	6.3	31	0.0	32	0.0	26	9.4	20	0.0	33	5.9	26
Ⅳ-25	0.0	39	6.3	23	5.4	32	5.3	34	8.3	18	0.0	26	3.8	36	5.9	19	0.0	37
I-3	5.0	25	6.3	23	13.5	10	1.1	42	0.0	32	0.0	26	5.7	27	5.9	19	0.0	37
V-34	5.0	25	0.0	39	8.1	24	2.1	39	8.3	18	0.0	26	5.7	27	0.0	33	29.4	3
Ⅱ-16	0.0	39	0.0	39	5.4	32	8.4	22	0.0	32	0.0	26	0.0	42	0.0	33	5.9	26
Ⅲ-23	5.0	25	6.3	23	0.0	43	0.0	43	16.7	6	0.0	26	3.8	36	0.0	33	0.0	37

スマホで解決！使ってみよう！「ココナビこおりやま」

ココナビこおりやまとは？

◆スマートフォンなどで情報を寄せていただくシステムです

道路の破損や防犯灯の故障などを、市民の皆さんがスマートフォンやタブレット端末などで撮影・投稿し、市役所に情報を寄せていただくシステムです。情報を受けた市の担当部署が、現地調査などを行い、補修や修繕を実施します。

どんな場面で使うの？

◆道路の破損や防犯灯の故障などを発見したときに使用します。

- > 投稿の対象となる主な情報
 - 道路…道路や側溝の破損
 - 河川…河川設備の破損
 - 公園…公園遊具の破損
 - 防犯灯…防犯灯の故障
 - ごみ…ごみの不法投棄
 - 公共施設…公共施設（庁舎）の破損



利用方法は？

「ココナビこおりやま」は、民間が運営するウェブサイト「FixMyStreetJapan」を利用しており、事前に専用アプリケーションのダウンロード（無料）と、ユーザ登録が必要となります。

①専用アプリのダウンロード

次のアプリストアから「FixMyStreetJapan」で検索して、ダウンロードします。

- ・アンドロイド（Android）端末
Playストアからダウンロード



- ・アイフォーン（iPhone）端末
AppStoreからダウンロード



②ユーザ登録

ダウンロードしたアプリを起動し、画面に従って必要な情報を入力します。



←メールアドレス、パスワード、氏名、ニックネームの入力と、利用規約の同意が必要です。

あなたの声をお聞かせください

～市民意識調査～

平成28年度

<ご記入に当たってのお願い>

- 調査票は封筒あて名のご本人がお答えください。
- 回答は、設問に従い、あてはまる番号に○印をつけてください。
- 回答後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて12月7日（水）までにポストにご投函ください。

また、パソコン・スマートフォンからもご回答いただけますので、下記URLをご参照ください。

【回答用URL】

<http://www.task-asp.net/cu/eg/1ar0>



-201600184

1. 最後まで入力が終わりましたら「次へ」をクリックしてください。
2. 内容確認の画面が出ますので、修正がなければ「送信する」をクリックしてください。
3. 「受け付け」の画面が出たら終了になります。
※入力期限：12月7日（水）

◆注意点◆

アンケート入力時間は1時間となります。入力から1時間過ぎますと送信できなくなり、再度入力が必要となりますので、ご注意ください。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先> 郡山市政策開発部広聴広報課

電話：024-924-2061

Email：kocho@city.koriyama.fukushima.jp

東北のウィーン

楽都郡山

1 郡山市の住みやすさについて

まちの住み心地や郡山市への愛着等について、どのように感じているか、あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

(1) あなたにとって、郡山市は住みやすいまちですか？

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

(2) あなたは、今後も郡山市に住みたいと思いますか？

1. 現在の住所にずっと住み続けたい
2. 市内の別の地域に住みたい
3. どちらともいえない
4. いずれは市外に住みたい
5. 住みたくない

2 郡山市のまちづくりについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、どのように感じているか、それぞれにあてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

【分野Ⅰ】市民協働・人権・行政経営	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま つ た く	わ か ら な い
1. 市民協働 ※1 地域課題の解決等に対して、市民活動団体、企業、行政等との連携・協力が図られているか <small>※1 市民・市民活動団体・企業・行政等が、お互いの立場や特性、目的を認め合い、役割を分担した上で対等の立場で協力し合うこと</small>	5	4	3	2	1	0
2. 広聴広報 広報紙やウェブサイト等を活用した市政情報の発信が充実しているか	5	4	3	2	1	0
3. ユニバーサルデザイン ※2 障がいの有無や年齢等に関わらず、安心して快適に暮らすことができる取り組みが進んでいるか <small>※2 障がいの有無や年齢、国籍、性別などの違いに関わらず、はじめからできるだけ多くの人が使いやすい製品や建物、都市環境、サービス等の提供を目指そうという考え方のこと</small>	5	4	3	2	1	0
4. 男女共同参画 家庭や地域、職場において、男女が共に個性と能力を発揮できているか	5	4	3	2	1	0
5. 行政経営 適正かつ市民の視点に立った効率的・効果的な行政経営が行われているか	5	4	3	2	1	0
6. シティプロモーション 本市の魅力が広く内外に発信され、都市イメージが向上しているか	5	4	3	2	1	0
7. 高度情報化 SNS ※3（ソーシャルネットワーキングサービス）等、ICT ※4 を活用した利便性の高い行政サービスが提供されているか <small>※3 インターネット上で、日記やメッセージなどを通じて人と人が交流することを目的としたサービスのこと ※4 情報通信技術</small>	5	4	3	2	1	0

8. 広域行政 共通する地域課題等に対応するため、他の自治体等との協力、連携体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅰについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅱ】 教育・文化・スポーツ・交流	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
9. 乳幼児教育 保健・福祉・教育の連携体制が整っているか	5	4	3	2	1	0
10. 学校教育 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むための教育環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
11. 青少年の健全育成 青少年が豊かな人間性や社会性を身につけ、健全に育つ環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
12. 生涯学習 いつでもどこでも自由に学習できるよう、公民館・図書館等の施設や講座等が充実しているか	5	4	3	2	1	0
13. 歴史・文化芸術 伝統行事や芸術活動等、魅力ある市民文化が継承されているか	5	4	3	2	1	0
14. 音楽都市こおりやま 音楽に触れる機会や環境が整備され、音楽がまちづくりに活かされているか	5	4	3	2	1	0
15. スポーツ・レクリエーション スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実しているか	5	4	3	2	1	0
16. 都市交流・国際交流 様々な地域や国の人々との交流・活動を通じ、友好や相互理解を深める等、国内外に開かれたまちとなっているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅱについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅲ】 子育て・福祉・保健	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま っ た く	わ か ら な い
17. 子育て 安心して子どもを産み育てる環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
18. 地域福祉 地域や隣近所で互いに支え合い、助け合う体制が整っているか	5	4	3	2	1	0

19. 高齢者福祉 高齢者が健康で生きいきと暮らせるための福祉サービスが充実しているか	5	4	3	2	1	0
20. 障がい者福祉 障がいのある方が必要とする福祉サービスが充実しているか	5	4	3	2	1	0
21. 健康づくり 各種健（検）診や健康相談等、健康に暮らすための支援体制が充実しているか	5	4	3	2	1	0
22. 医療 必要なときに安心かつ適切な医療を受けられる体制が充実しているか	5	4	3	2	1	0
23. 生活衛生 食の安全確保や生活に密着した営業施設等の衛生対策が図られているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅲについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅳ】 新エネルギー・環境	よ い	ま あ ま あ	普 通	あ ま り	ま つ た く	わ か ら な い
24. 新エネルギー 省エネルギーの推進や太陽光発電、風力発電、小水力発電及びバイオマスエネルギーの普及等、環境にやさしい新たなエネルギー社会への取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	0
25. 環境活動 地球温暖化等、環境問題への意識の啓発と具体的な取り組みが進んでいるか	5	4	3	2	1	0
26. ごみ対策 家庭や職場等における「3R」※1（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みにより、ごみの減量化と資源の有効利用が図られているか ※1 「Reduce（発生抑制）」 「Reuse（再使用）」 「Recycle（再生利用）」の頭文字をとった言葉	5	4	3	2	1	0
27. 自然環境 豊かな自然が適正に保全され、それらと身近にふれあえる環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
28. 住環境 水道や下水道、公園が整備されているとともに、景観への配慮等、住環境が整っているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅳについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅴ】 産業・観光・雇用	資料					わからない
	よい	まあまあ	普通	あまり	まったく	
29. 農業 農業の担い手が育ち、安全・安心な農作物が生産されているか	5	4	3	2	1	0
30. 地域商工業 中小企業や商店街等、地域に密着した商工業の振興が図られているか	5	4	3	2	1	0
31. ショッピング・レジャー 市内で気軽に利用できる、ショッピング施設やレジャー施設が充実しているか	5	4	3	2	1	0
32. 産業創出 新しい分野の産業や企業の育成・誘致等、市内産業が活性化しているか	5	4	3	2	1	0
33. 観光 観光資源の活用やコンベンション※1の誘致等、観光の振興や誘客が図られているか ※1 会議・大会・研修会・博覧会など、一定の目的を持って人が集まる催しのこと	5	4	3	2	1	0
34. 6次産業化※2 農・商・工・サービス業等が連携し、ブランド化等の産業の多角化に取り組んでいるか ※2 生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）が融合・連携し、商品の付加価値の向上、新たな開発などを図る取り組みのこと	5	4	3	2	1	0
35. 雇用促進 雇用のための相談体制、働きやすい就労環境の確立が図られているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅴについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅵ】 都市計画・交通・防災	資料					わからない
	よい	まあまあ	普通	あまり	まったく	
36. 計画的なまちづくり 中心市街地の活性化や地域特性を生かしたまちづくりが行われているか	5	4	3	2	1	0
37. 交通・道路 新幹線、高速道路等の高速交通や路線バス、また生活道路や橋等、交通体系が充実しているか	5	4	3	2	1	0
38. 防災 ライフラインの確保や情報の共有化、消防、救急体制の整備、水害対策等、防災に対する備えができてしているか	5	4	3	2	1	0
39. 防犯・交通安全・消費者対策 犯罪の未然防止、通学路や生活道路等の交通安全対策、消費者対策により、安心して暮らすことができているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅵについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

【分野Ⅶ】 原子力災害対策・復興	よい	まあまあ	普通	あまり	まったく	わからない
	5	4	3	2	1	0
40. 除染 住宅や道路、公共施設等の空間線量の低減化が図られているか	5	4	3	2	1	0
41. 健康管理 内部被ばく検査や自家消費野菜等の放射能検査、心や体のケアに関する健康相談体制の充実等、健康管理が図られているか	5	4	3	2	1	0
42. 子ども活動支援 子どもたちが安心して遊び、運動できる施設やサポート体制が充実しているか	5	4	3	2	1	0
43. 風評の払しょく 郡山製品の安全性のPR、販路の拡大及び観光誘客等により、風評の払しょくが図られているか	5	4	3	2	1	0
分野Ⅶについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。						

3 郡山市のこれからの取り組みについて

現在、本市が進めているまちづくり（取り組み）について、特に重要と思われるものの番号を5つ選び、その番号に○印をつけてください。

【分野Ⅰ】市民協働・人権・行政経営 1. 市民協働 2. 広聴広報 3. ユニバーサルデザイン 4. 男女共同参画 5. 行政経営 6. シティプロモーション 7. 高度情報化 8. 広域行政	【分野Ⅳ】新エネルギー・環境 24. 新エネルギー 25. 環境活動 26. ごみ対策 27. 自然環境 28. 住環境
【分野Ⅱ】教育・文化・スポーツ・交流 9. 乳幼児教育 10. 学校教育 11. 青少年の健全育成 12. 生涯学習 13. 歴史・文化芸術 14. 音楽都市こおりやま 15. スポーツ・レクリエーション 16. 都市交流・国際交流	【分野Ⅴ】産業・観光・雇用 29. 農業 30. 地域商工業 31. ショッピング・レジャー 32. 産業創出 33. 観光 34. 6次産業化 35. 雇用促進
【分野Ⅲ】子育て・福祉・保健 17. 子育て 18. 地域福祉 19. 高齢者福祉 20. 障がい者福祉 21. 健康づくり 22. 医療 23. 生活衛生	【分野Ⅵ】都市計画・交通・防災 36. 計画的なまちづくり 37. 交通・道路 38. 防災 39. 防犯・交通安全・消費者対策
	【分野Ⅶ】原子力災害対策・復興 40. 除染 41. 健康管理 42. 子ども活動支援 43. 風評の払しょく

4 郡山市の新たなまちづくり基本指針について

本市では、2017(平成29)年度までを計画期間とする「第五次総合計画」に代わる、新たなまちづくり基本指針の策定を進めております。

策定にあたり以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 通常、地方自治体の運営は、最上位計画である「総合計画」に基づいており、本市では「第五次総合計画」が該当します。その「第五次総合計画」について、どの程度ご存知ですか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. よく知っている |
| 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない |
| 4. まったく知らない |

- (2) 新たなまちづくり基本指針をはじめとする市政の運営方針策定については、市民協働で進めていきたいと考えております。策定にあたりどのような手法で参加されたいと思われませんか？

あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. アンケート調査などで回答 | 6. 市民インタビューへの回答 |
| 2. 地区懇談会などへの参加 | 7. その他 |
| 3. ウェブサイトなどでの市民提案 | (具体的に) |
| 4. パブリックコメントで意見 | |
| 5. 様々な分野での懇談会への参加 | |

- (3) どのような機会に新たなまちづくり基本指針を活用したいと思われませんか？

あてはまる番号を全て選び、○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 学校での授業や子どもたちの地域学習 | 6. 観光客などへの本市紹介 |
| 2. 町内会など地域活動 | 7. その他 |
| 3. 生涯学習の活動 | (具体的に) |
| 4. 企業の地域貢献活動や事業創出 | |
| 5. 行政の取組内容確認 | |

5 広報こおりやまについて

本市では、毎月広報こおりやまを編集・発行し、市政情報を発信しておりますが、以下の項目について、ご意見をお聞かせください。

- (1) 広報こおりやまは、読みやすいですか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. 読みやすい |
| 2. ある程度読みやすい |
| 3. 普通 |
| 4. 多少読みにくい |
| 5. 読みにくい |

- (2) 広報こおりやまの左側に開けてあるパンチ穴は、必要ですか？

あてはまる番号を1つ選び、○印をつけてください。

- | |
|------------|
| 1. 必要である |
| 2. 必要でない |
| 3. どちらでもない |

6 あなたご自身について

あなたご自身について、あてはまる番号を1つ選び、その番号に○印をつけてください。

(1) 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) 年齢

1. 18歳～19歳	5. 50歳～59歳
2. 20歳～29歳	6. 60歳～69歳
3. 30歳～39歳	7. 70歳以上
4. 40歳～49歳	

(3) 職業

1. 農業	5. 主婦・主夫
2. 給与所得者	6. 学生
3. 自営業者	7. 無職
4. パート・アルバイトなど	8. その他

(4) 郡山市での居住年数

1. 1年未満	4. 10～19年
2. 3年未満	5. 20～29年
3. 3～9年	6. 30年以上

(5) 居住形態

1. 持ち家	4. 社宅、公舎など
2. 民間の借家・アパート	5. 間借、同居、寮など
3. 公営住宅	

(6) お住まいの地域

1. 旧郡山東部（芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など）	
2. 旧郡山西部（駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外）	
3. 富田	10. 日和田
4. 大槻	11. 富久山
5. 安積	12. 湖南
6. 三穂田	13. 熱海
7. 逢瀬	14. 田村
8. 片平	15. 西田
9. 喜久田	16. 中田

◆市に対するご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。◆

.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上で、質問は終わりです。お忙しい中ご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成 28 年度 市民意識調査報告書

■編集・発行 郡山市政策開発部広聴広報課
郡山市朝日一丁目 2 3 番 7 号
TEL. 024-924-2061 FAX. 024-924-3180
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp>
e-mail kocho@city.koriyama.fukushima.jp